



2022年3月期 決算説明会

2022年5月12日

免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（Arm Limitedを含み、以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものでもありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績の保証を意味するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」（https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor）をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依存してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測又は予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited（以下「SBGA」）、SB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）、SBLA Advisers Corp. (以下「SBLA」)及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ピークル又はオルタナティブ投資ピークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、それぞれSBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ピークル又はオルタナティブ投資ピークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」または「SVF1」）と、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ピークル又はオルタナティブ投資ピークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」または「SVF2」）を含み、また、SBLAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ピークル又はオルタナティブ投資ピークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」または「LatAm Fund」）¹を含みます。

SBファンド（ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらず表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があります、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA、SBIA及びSBLAは、ビジョン・ファンド2、ビジョン・ファンド1及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA、SBIA又はSBLAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独、SBIA単独又はSBLA単独で運用されています。

¹ 2022年4月22日より、ラテンアメリカ・ファンドについても、SVF2のオルタナティブ投資ピークルとしてSBGAとその関係会社が運用することとなりました。

守り

守り

継続的な
資金化

×

投資基準の
厳格化

混沌とする世界

新型コロナ

ロシアによる
ウクライナ侵攻

新型コロナ 累計感染者数 (世界)

5億人

世界的流行

'20年

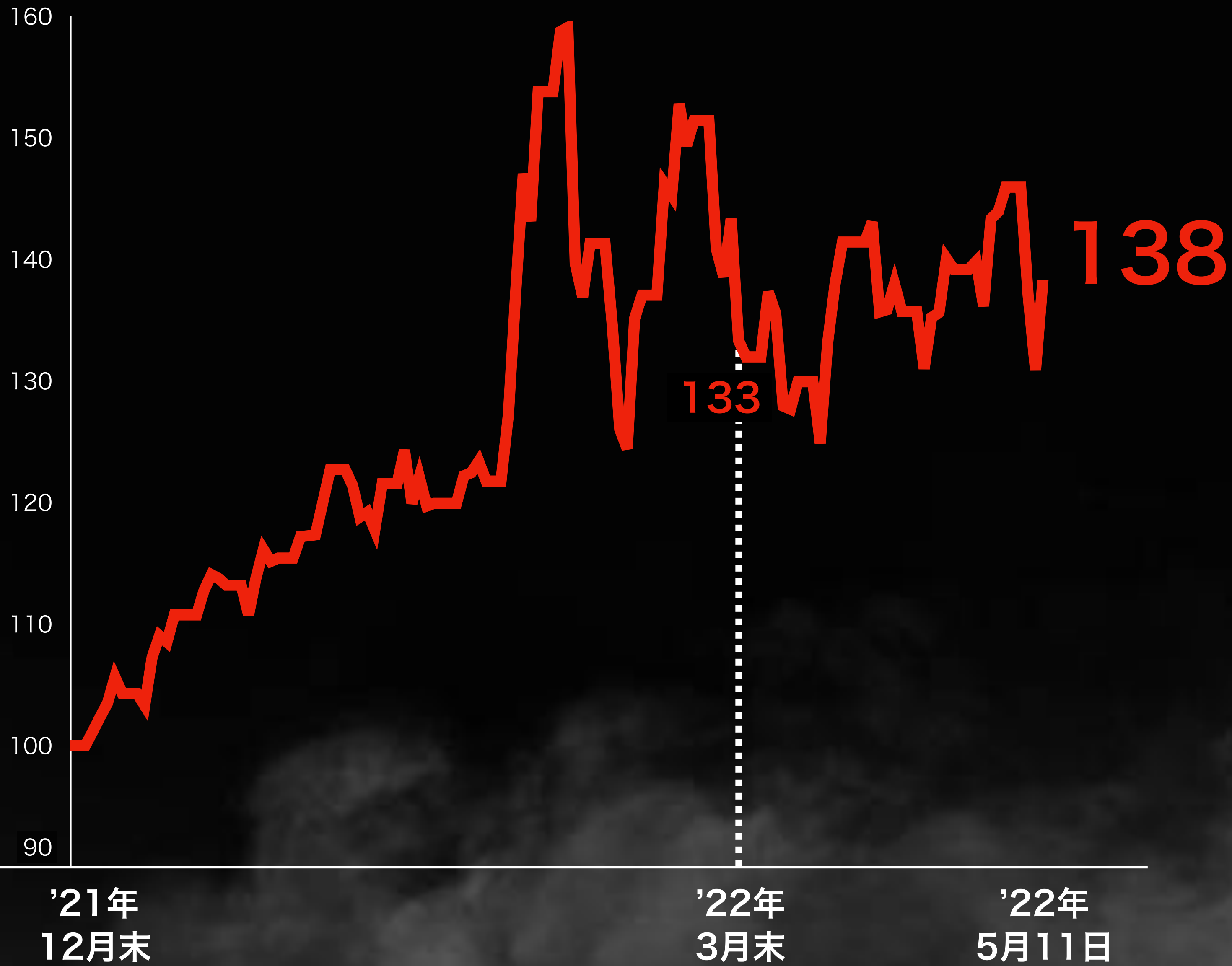
'21年

'22年



原油価格

(’21年12月末を100として指数化)

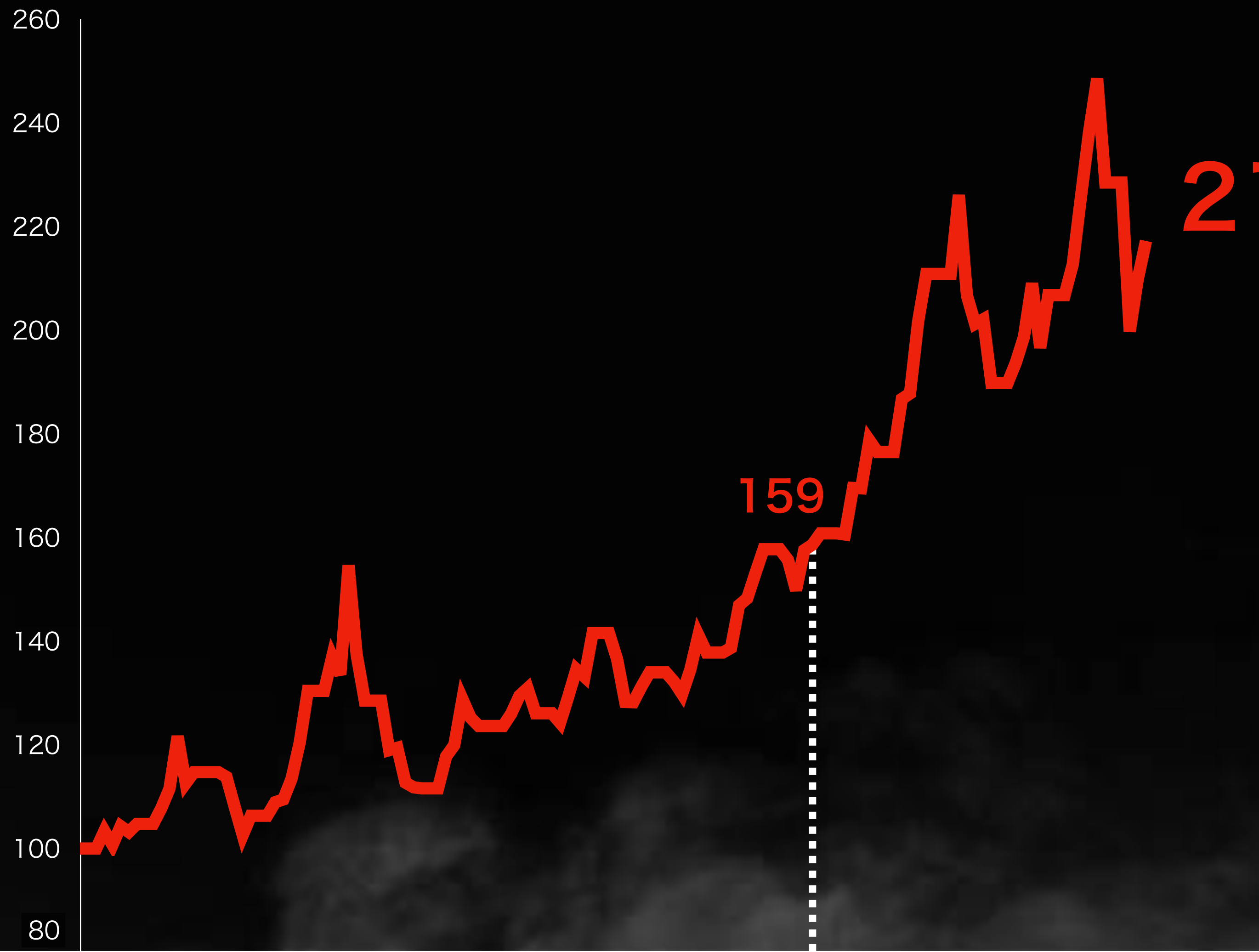


38%増



天然ガス価格

('21年12月末を100として指数化)



217

117%増



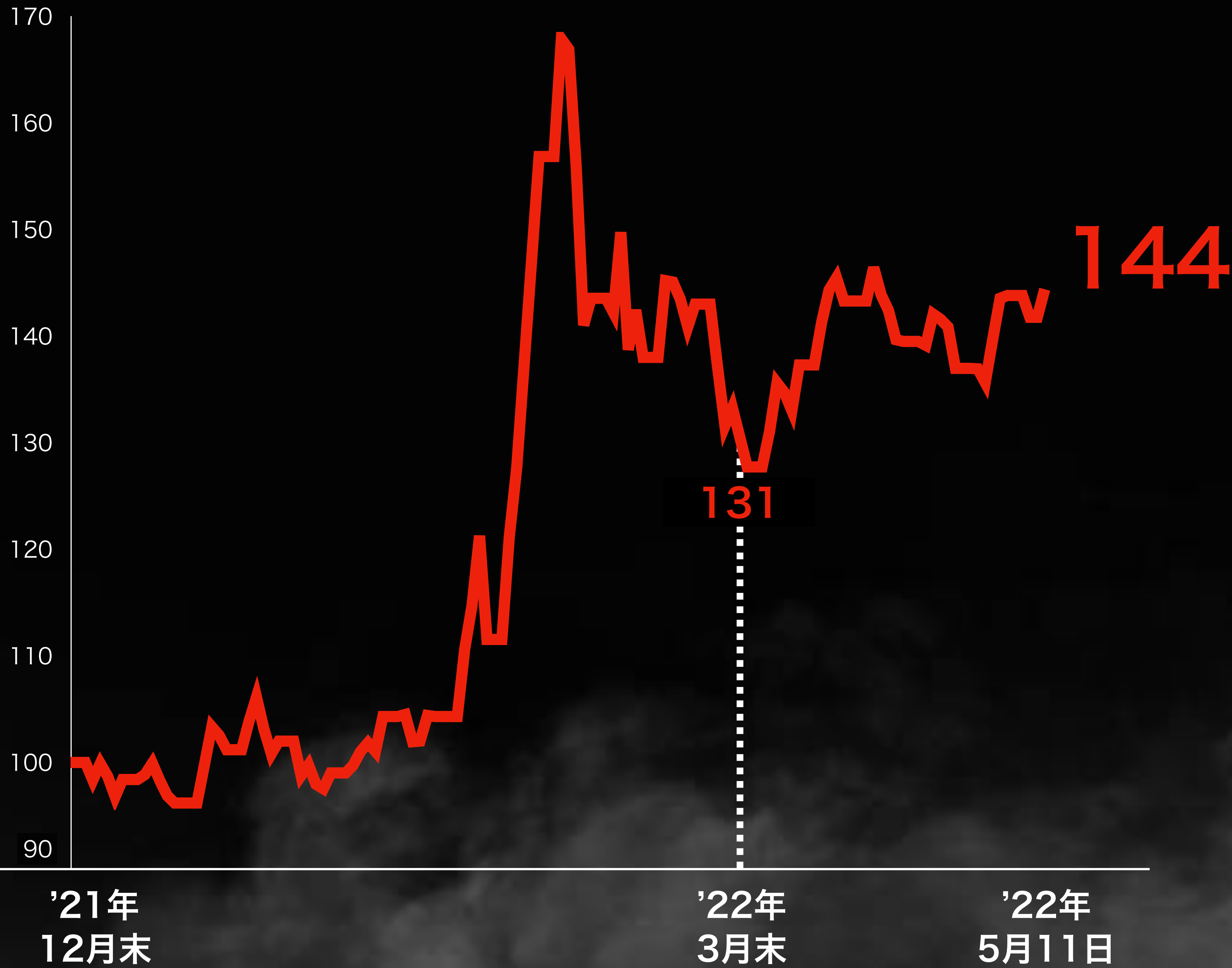
'21年
12月末

'22年
3月末

'22年
5月11日

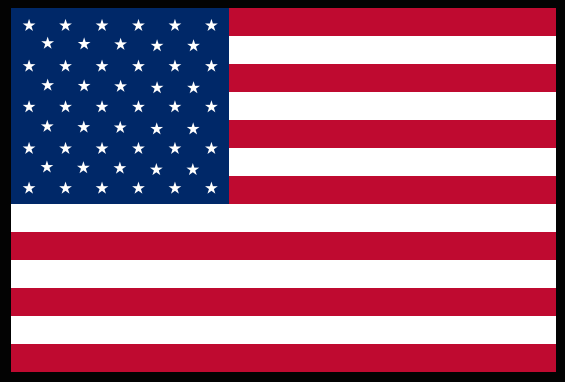
小麦価格

('21年12月末を100として指数化)



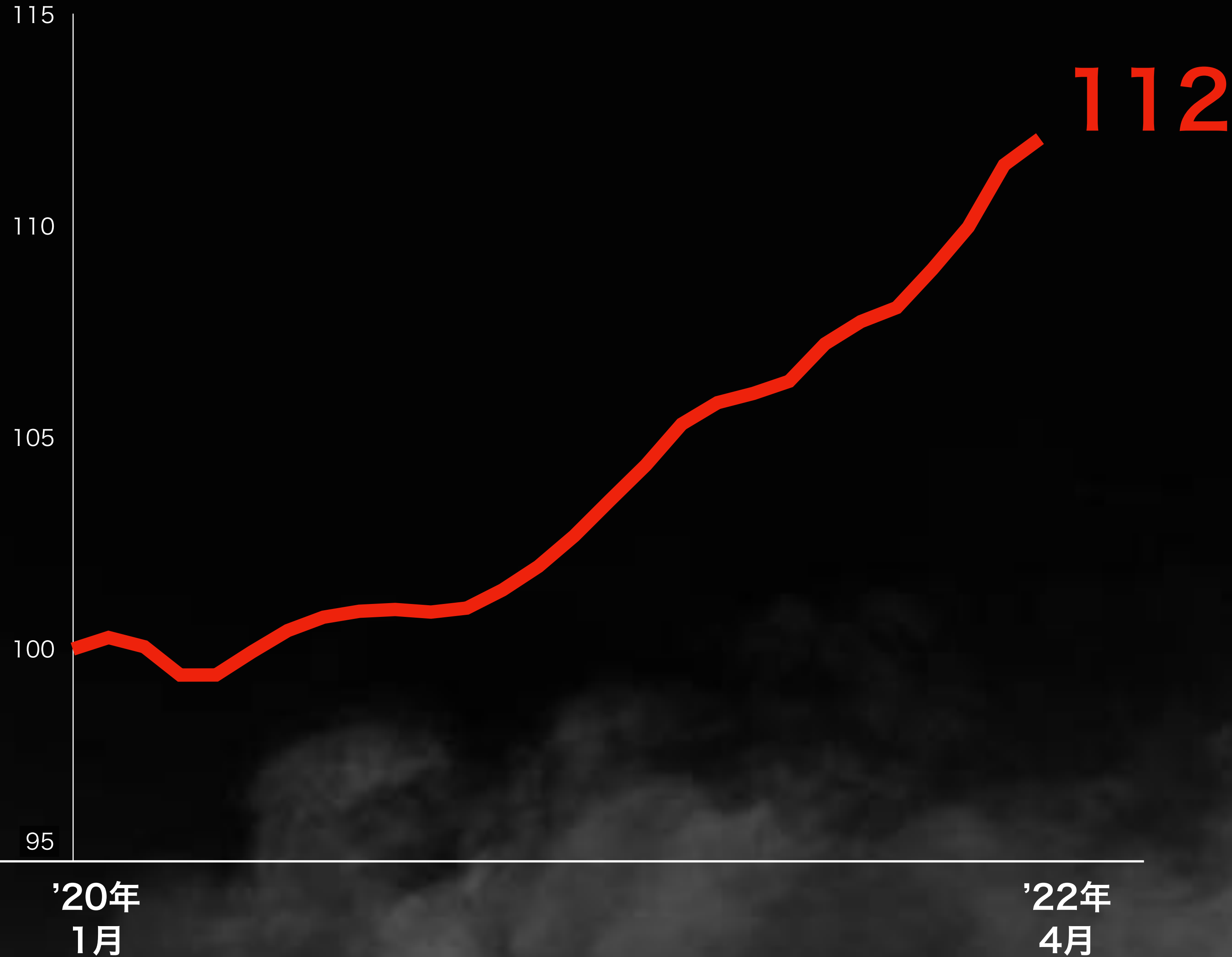
44%増





消費者物価指数

('20年1月を100として指数化)

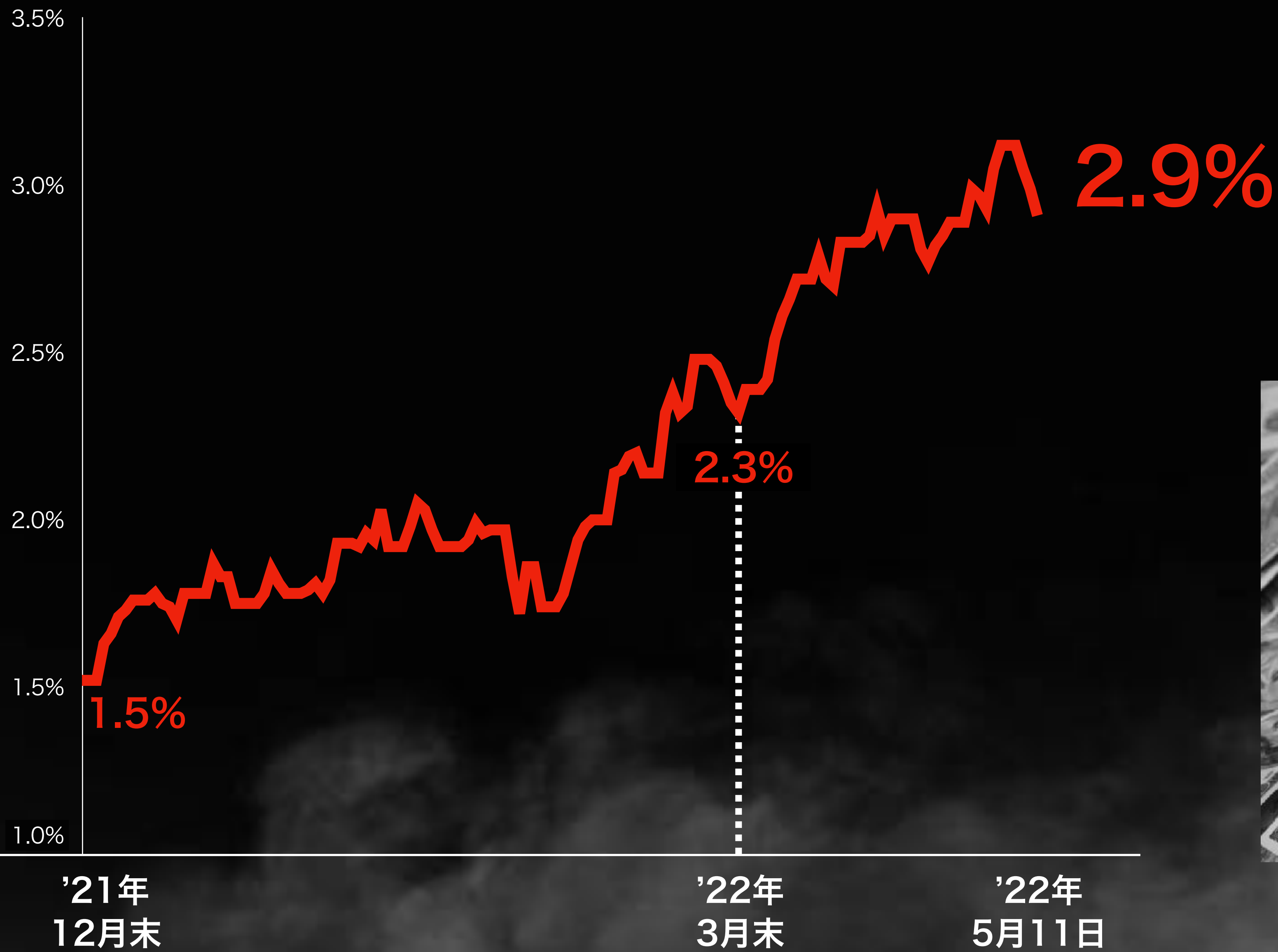


12%増



消費者物価指数：全都市消費者物価指数(CPI for All Urban Consumers)
米国都市平均、全項目の総合指数、季節調整前
(出所) アメリカ労働統計局

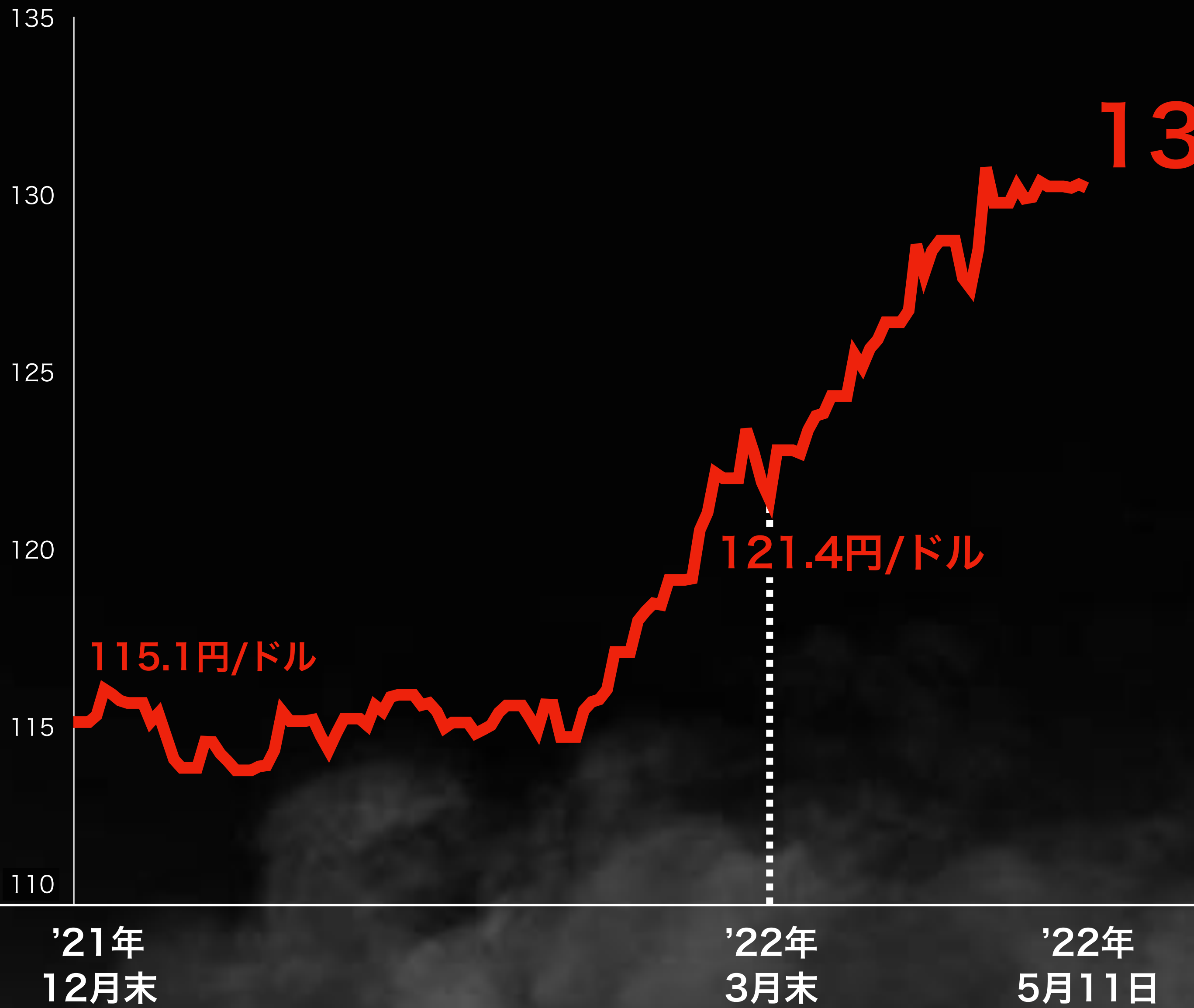
長期金利



上昇



為替レート (ドル/円)



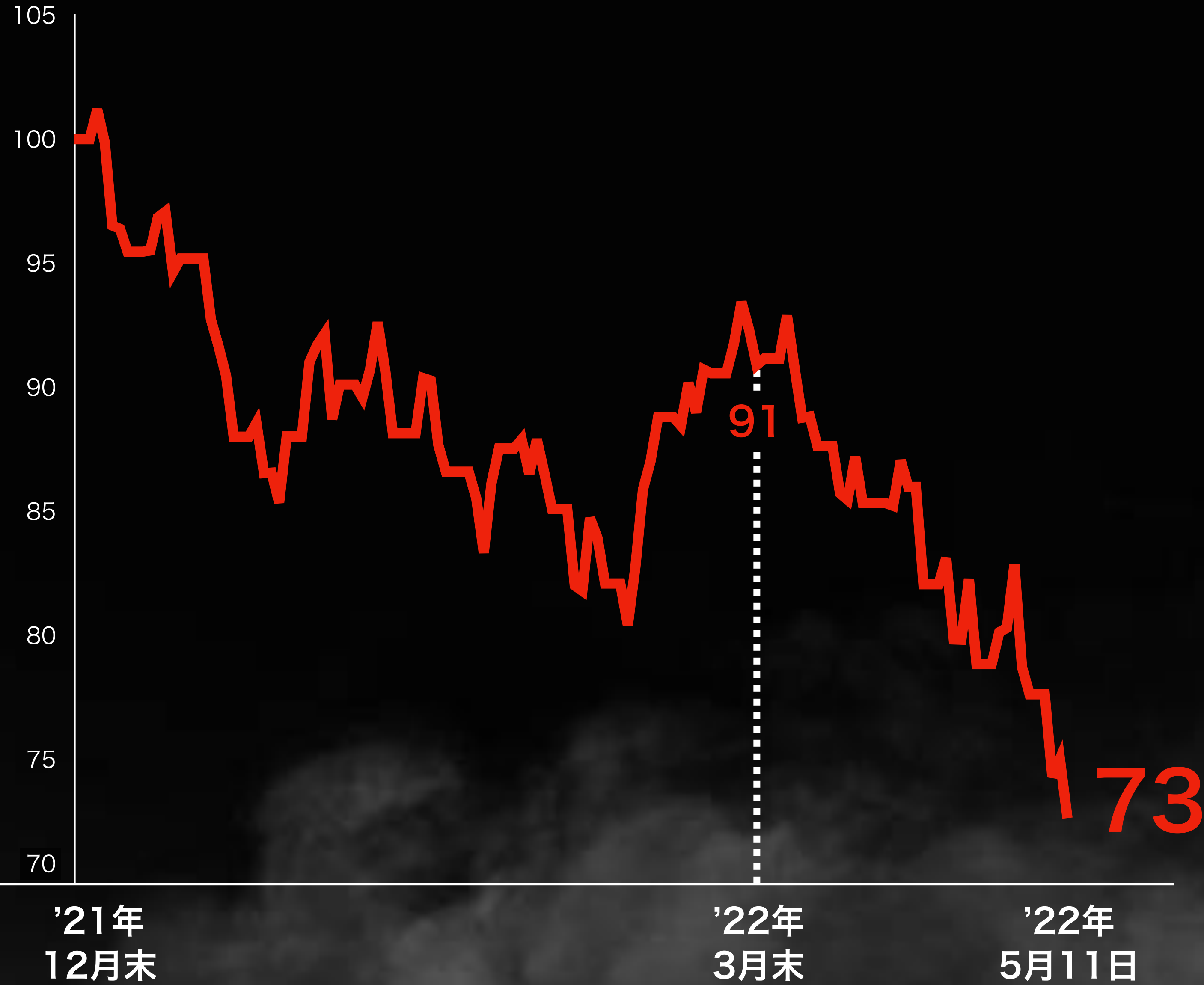
130.2円/ドル

円安



ナスダック総合指数

(’21年12月末を100として指数化)



27%減



ソフトバンクへの懸念？

保有株が下落？

負債過多か？

資金繰りは？

事実 ('22年3月)

NAV (時価純資産) 18.5兆円

LTV (純負債/保有株式) 20.4%

現金等 2.9兆円

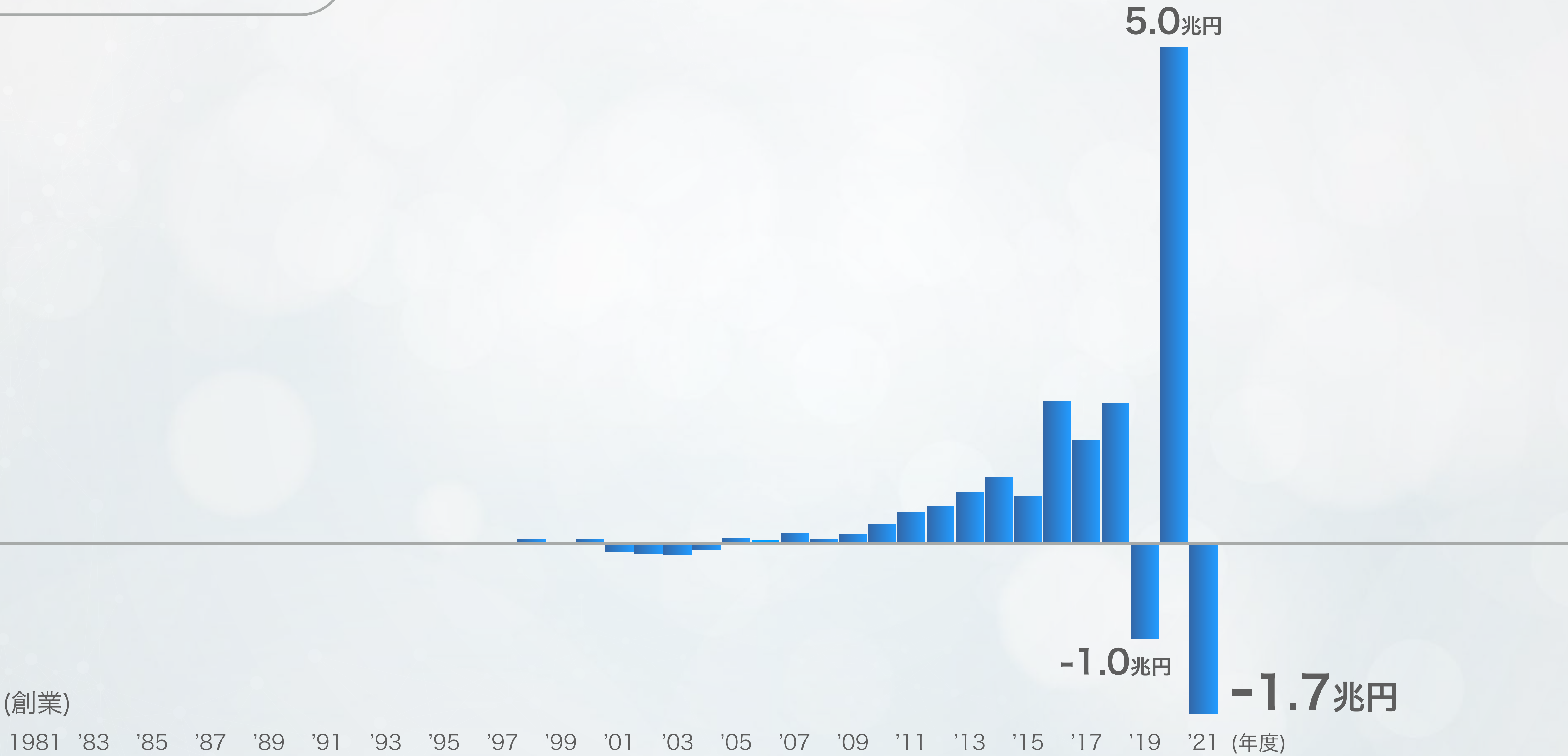
'22年3月末時点

NAV (時価純資産)・LTV (純負債/保有株式)：詳細はAppendix「NAV・LTVの定義及び算出方法 ('22年3月末時点)」を参照

現金等：手元流動性：現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+コミットメントライン未使用枠('22年3月末時点：1,247億円)、SBG単体ベース(SB Northstarを除く)

連結業績

当期純利益

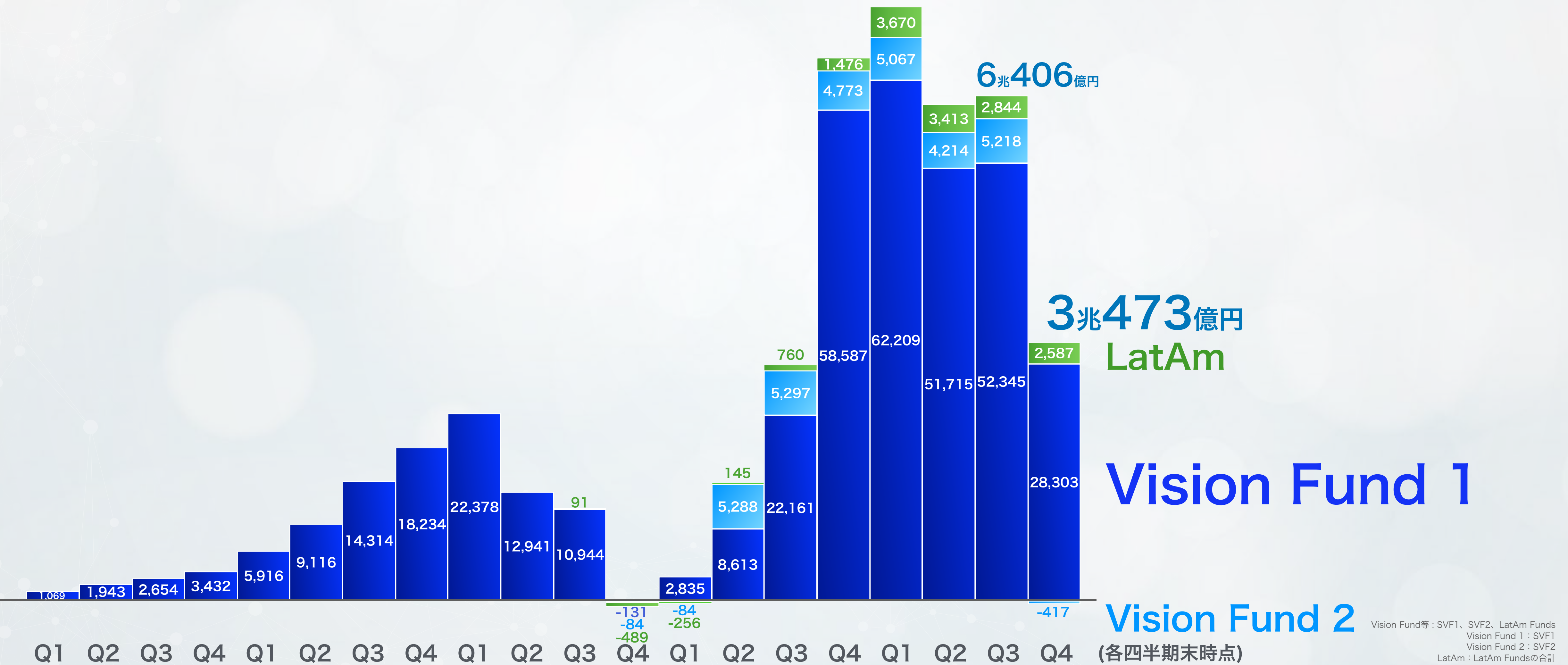


(創業)

1981 '83 '85 '87 '89 '91 '93 '95 '97 '99 '01 '03 '05 '07 '09 '11 '13 '15 '17 '19 '21 (年度)

Vision Fund等 投資事業* 損益 (累計)

(億円)



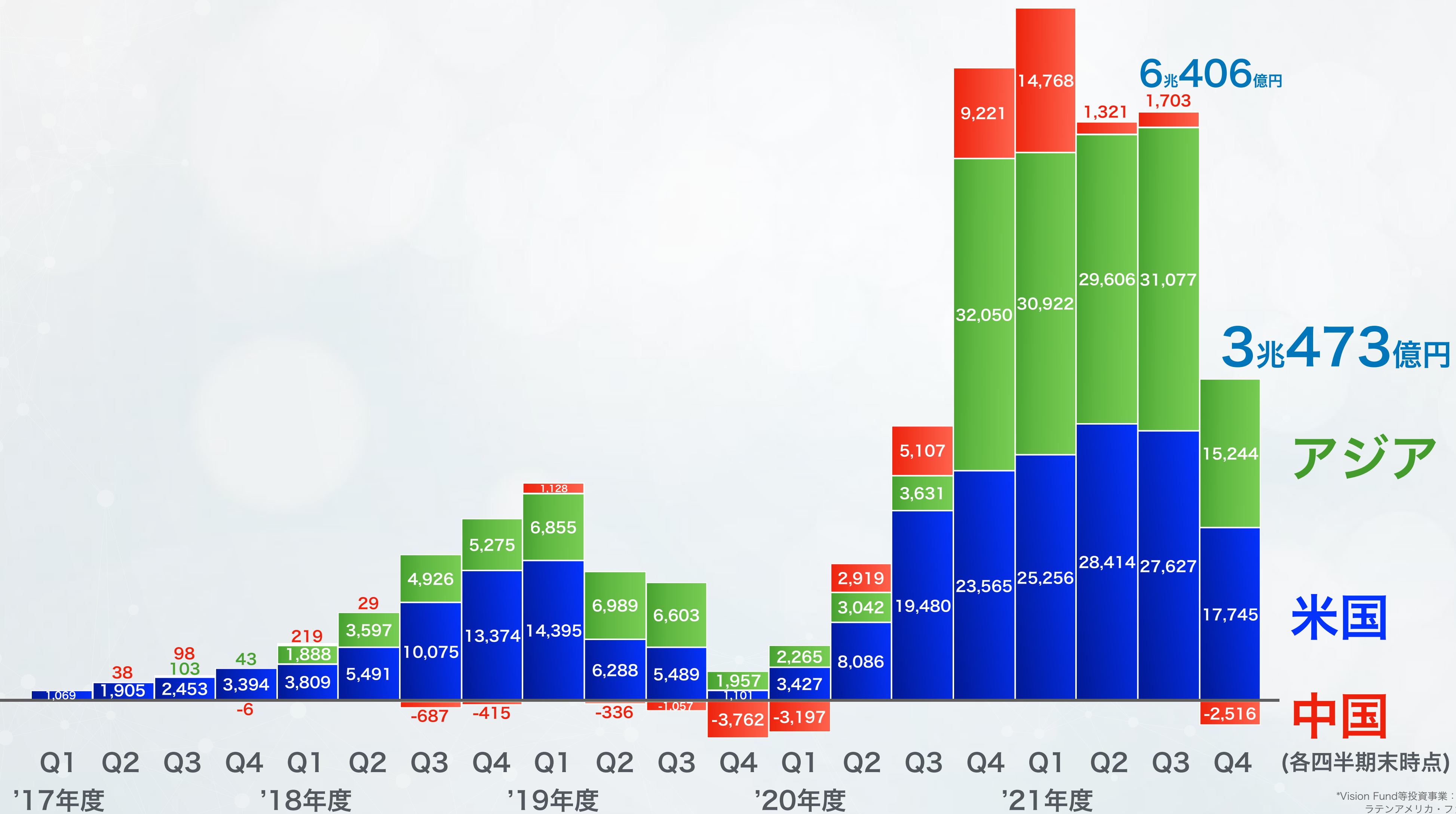
3兆473億円
LatAm
Vision Fund 1

Vision Fund 2
Vision Fund等 : SVF1、SVF2、LatAm Funds
Vision Fund 1 : SVF1
Vision Fund 2 : SVF2
LatAm : LatAm Fundsの合計

損益 : 投資損益 (デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分及び税金等控除前)
*Vision Fund等投資事業 : ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業とラテンアメリカ・ファンド事業の合計
ラテンアメリカ・ファンド事業 : LatAm Funds開始からの累計損益(各ファンドの契約実行日を起点)
各事業の投資損益は、「2022年3月期 決算データシート」を参照
各項目の金額は、単位未満を四捨五入しているため内訳の計と合計が一致しない場合があります。

Vision Fund等 投資事業* 損益 (累計)

(億円)



アジア・欧州・中南米等

米国

中国

(各四半期末時点)

Vision Fund等 : SVF1、SVF2、LatAm Funds

国・地域 : 投資先の本社所在地に基づき定義

アジア : 中国を除く

損益 : 投資損益 (デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分及び税金等控除前)

*Vision Fund等投資事業 : ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業とラテンアメリカ・ファンド事業の合計

ラテンアメリカ・ファンド事業 : LatAm Funds開始からの累計損益(各ファンドの契約実行日を起点)

各事業の投資損益は、「2022年3月期 決算データシート」を参照

各項目の金額は、単位未満を四捨五入しているため内訳の計と合計が一致しない場合があります。

ソフトバンクの最重要指標

ソフトバンクの最重要指標



ソフトバンクの最重要指標

NAV
(時価純資産)

= 18.5兆円

(’21年12月末比 0.8兆円減)

ソフトバンクの最重要指標

NAV
(時価純資産)

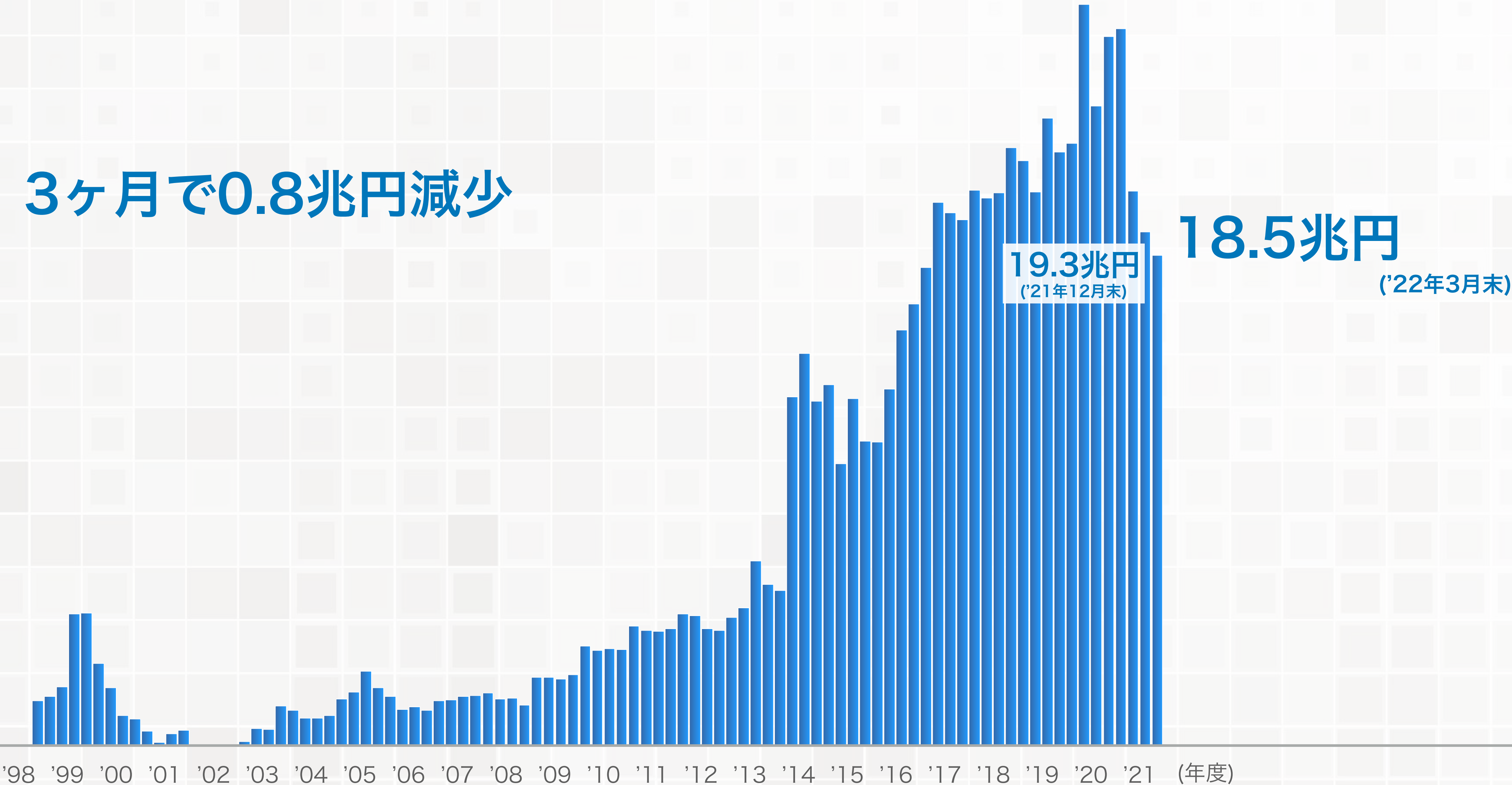
= 18.5兆円

(’21年12月末比 0.8兆円減)

時価総額 9.2兆円
ディスカウント 50%

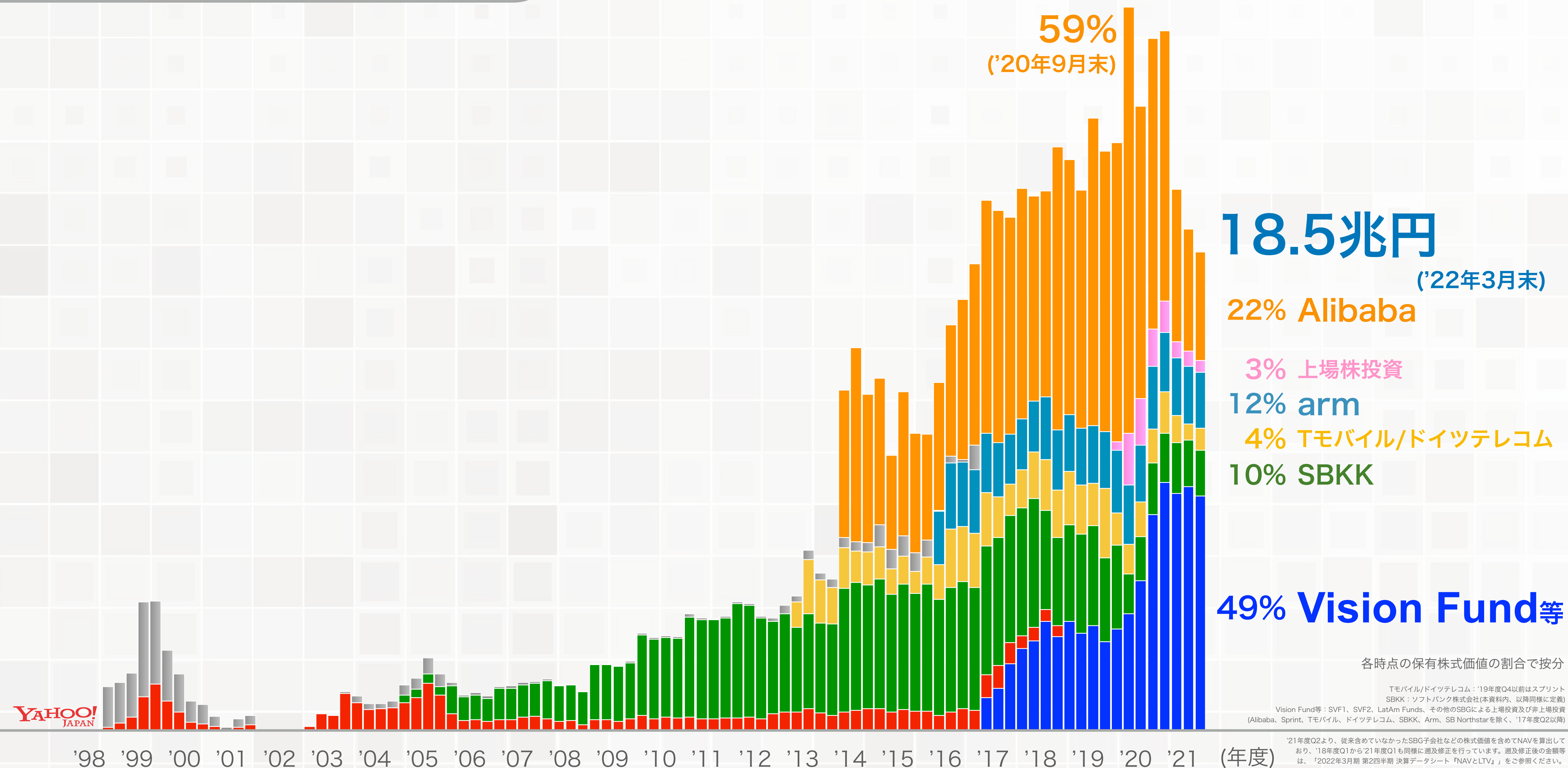
時価純資産 (NAV)

3ヶ月で0.8兆円減少



詳細はAppendix「NAV・LTVの定義及び算出方法（'21年12月末時点）」及び「NAV・LTVの定義及び算出方法（'22年3月末時点）」を参照

時価純資産 (NAV)



Tモバイル/ドイツテレコム：'19年度Q4以前はスプリント
SBKK：ソフトバンク株式会社(本資料内、以降同様に定義)
Vision Fund等：SVF1、SVF2、LatAm Funds、その他のSBGによる上場投資及び非上場投資
(Alibaba、Sprint、Tモバイル、ドイツテレコム、SBKK、Arm、SB Northstarを除く、'17年度Q2以降)

'21年度Q2より、従来含めていなかったSBG子会社などの株式価値を含めてNAVを算出して
おり、'18年度Q1から'21年度Q1も同様に遡及修正を行っています。遡及修正後の金額等
は、「2022年3月期 第2四半期 決算データシート『NAVとLTV』」をご参照ください。

詳細はAppendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(22年3月末時点)」を参照

ソフトバンクの最重要指標



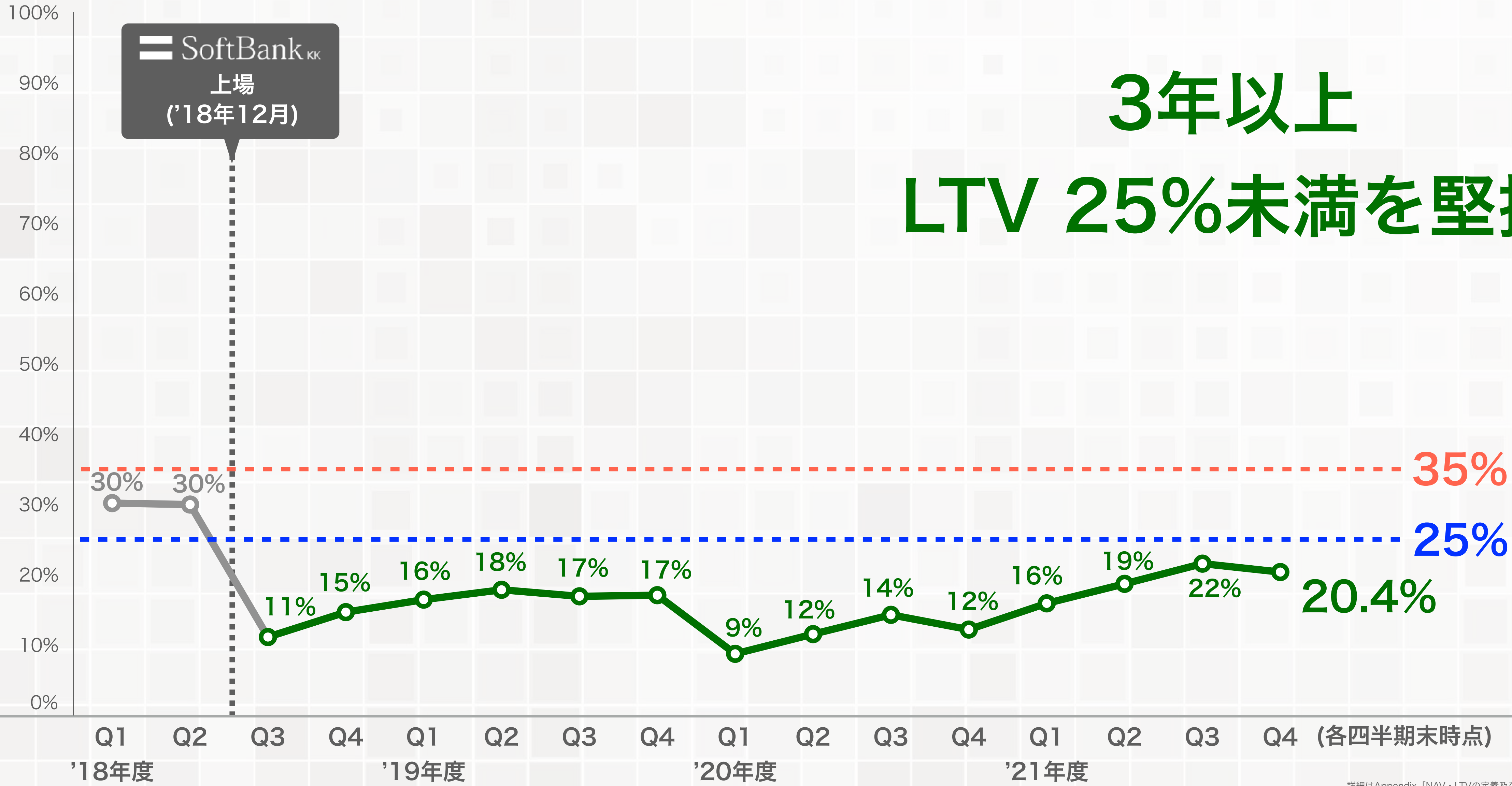
ソフトバンクの最重要指標

20.4% =

(’21年12月末比 1.2%改善)

LTV
(純負債/保有株式)

LTV (純負債/保有株式)



3年以上
LTV 25%未満を堅持

詳細はAppendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(22年3月末時点)」を参照

手元流動性

(兆円)

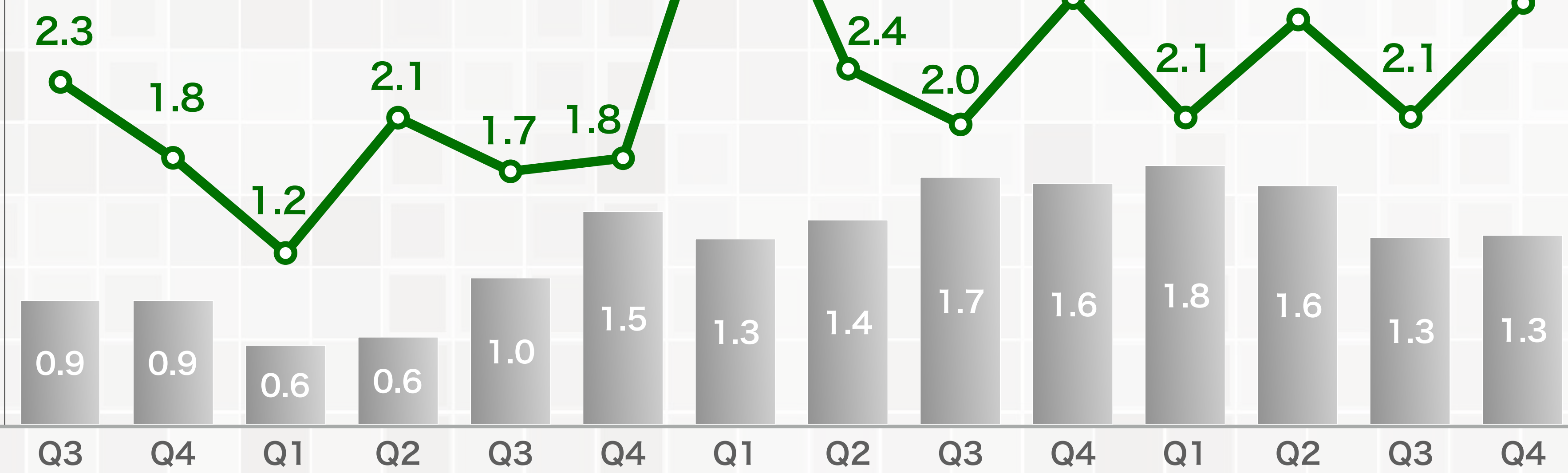
6.0
5.0
4.0
3.0
2.0
1.0
0.0

十分な水準を維持

手元流動性
(コミットメントライン未使用枠を含む)

2.9兆円

将来2年分の
社債償還資金



(各四半期末時点)

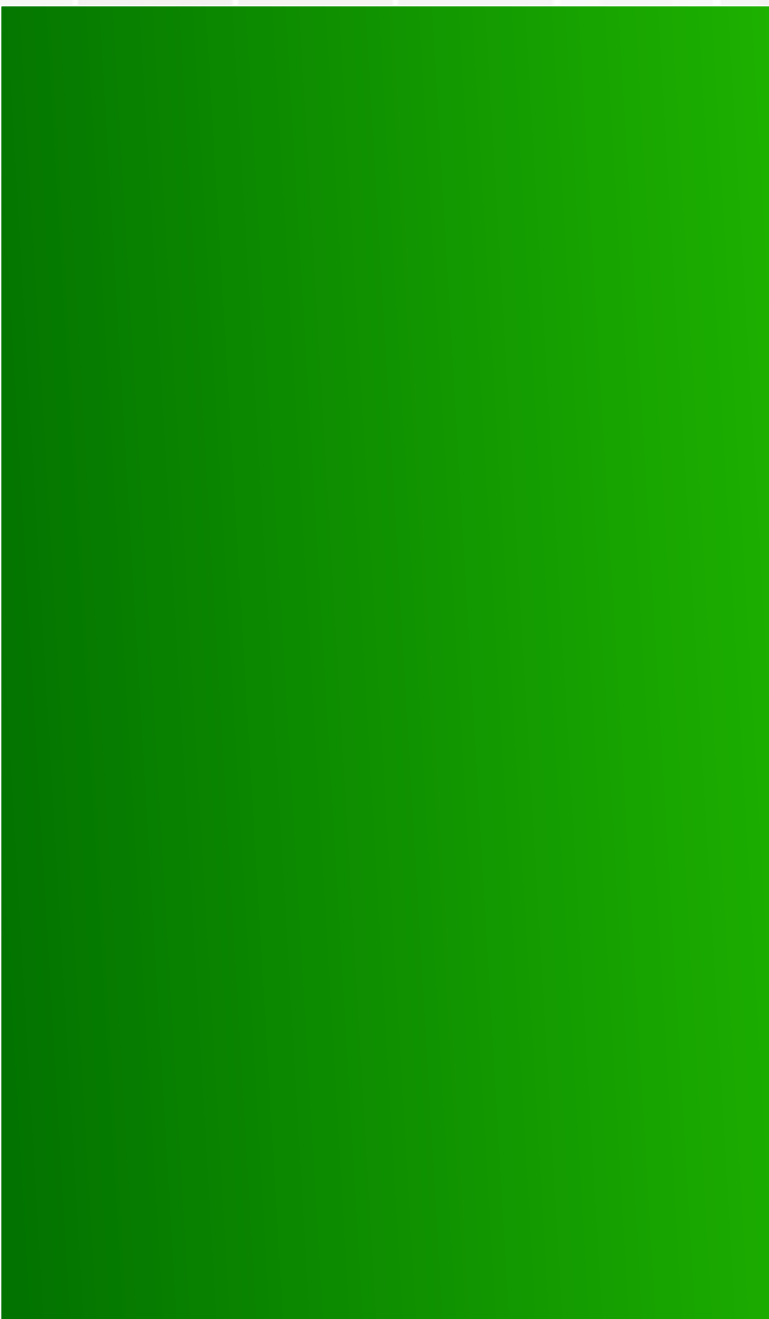
手元流動性：現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+コミットメントライン未使用枠(22年3月末時点：1,247億円)
SBG単体ベース(SB Northstarを除く)
社債償還金額：パイバックにより取得した社債を除く

手元流動性

手元流動性

(コミットメントライン未使用枠を含む)

2.9兆円

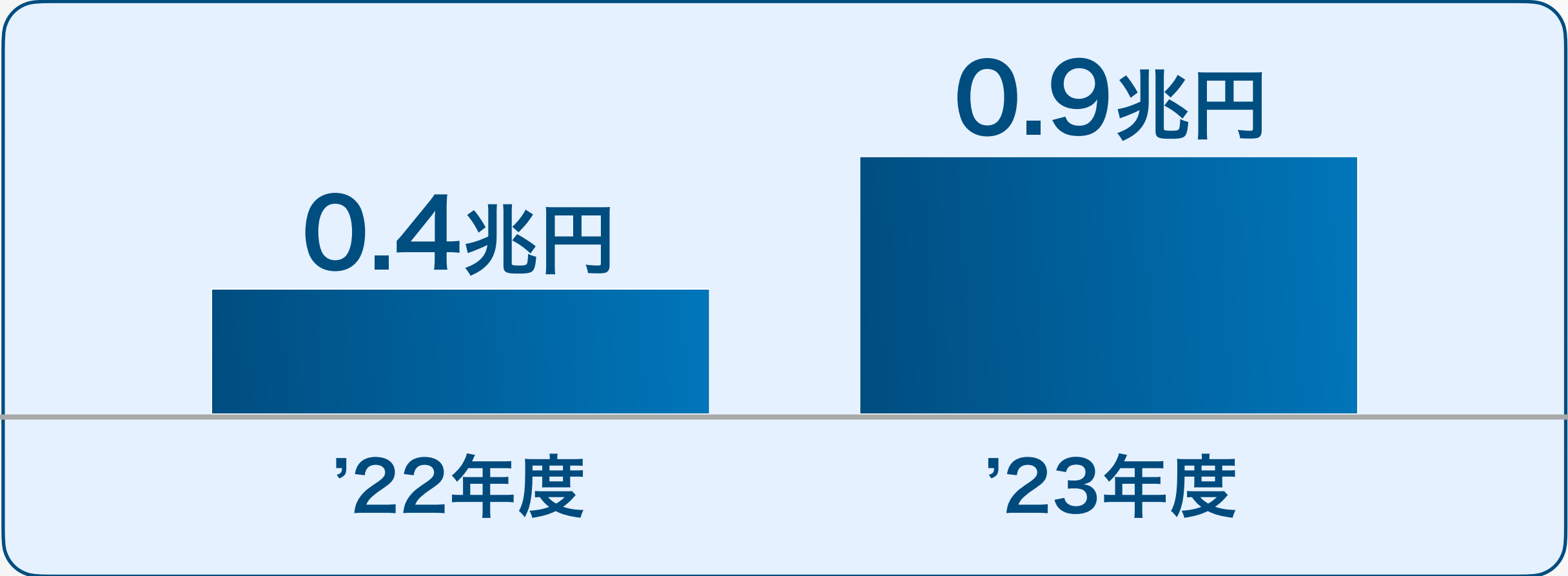


'22年3月末



社債償還スケジュール

今後2年間
1.3兆円



手元流動性：現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+コミットメントライン未使用枠('22年3月末時点：1,247億円)
SBG単体ベース(SB Northstarを除く)
社債償還金額：パイバックにより取得した社債を除く

自己株式の取得

最大
1.0兆円（'22年11月8日まで）



自己株式の取得

最大
1.0兆円 ('22年11月8日まで)

取得済
('21年11月～'22年4月)

0.43兆円
(平均買付価格：5,197円)

6ヶ月で43%進捗

投資資金 ('21年度) (12ヶ月累計)

5.2兆円
(\$46.2bn)

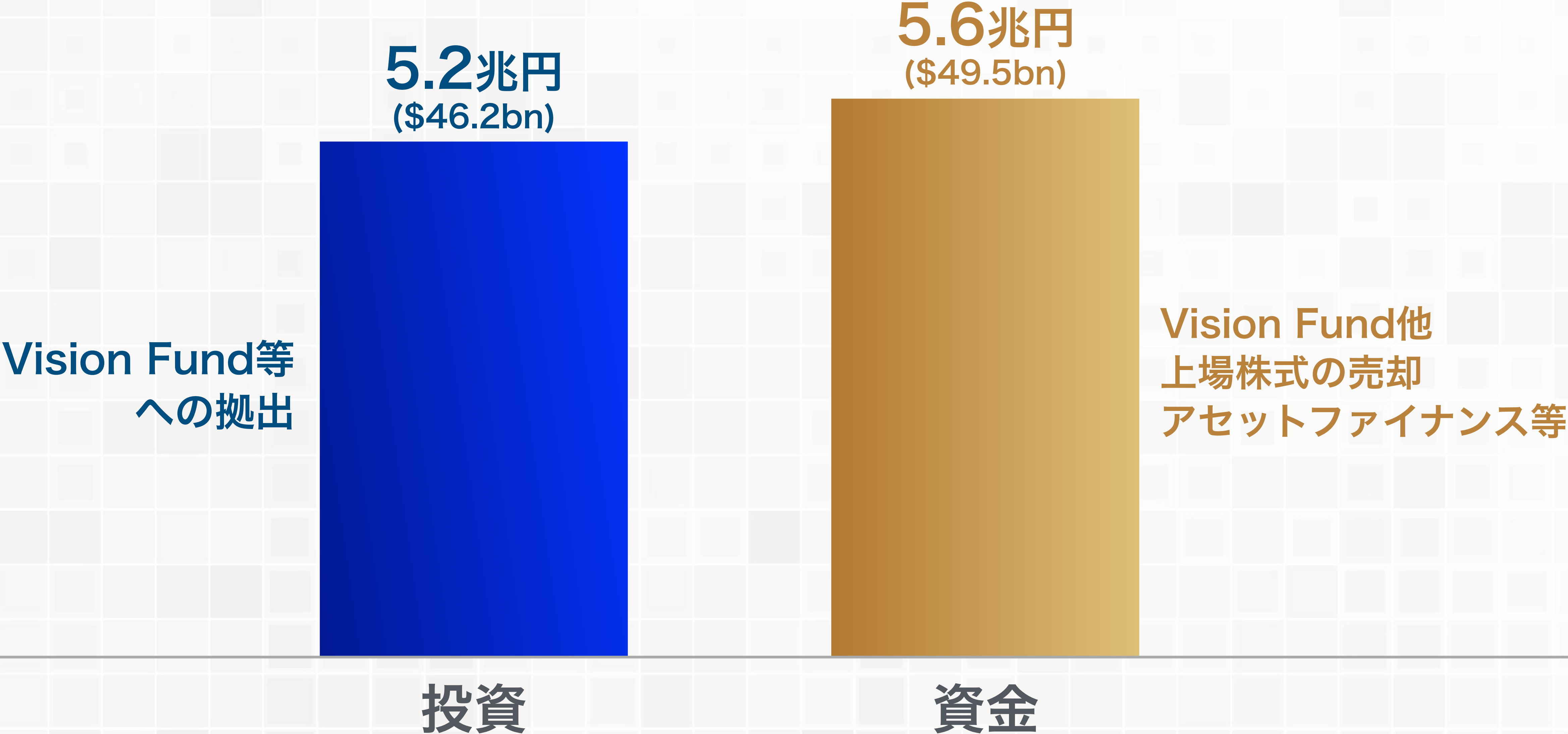
Vision Fund等
への拠出



投資

各期の平均レート等により円換算
Vision Fund等への拠出：SVF1への拠出額(\$0.6bn)、SVF2への拠出額 (SBGからSVF2へ売却または現物出資により移管した案件(Cybereason・Treasure Data・InMobi・WeWork・PayPay・Ola Electric・Kigen)への拠出分を含む)(\$41.4bn)、LatAm Fundsへの拠出額(\$4.2bn)の合計

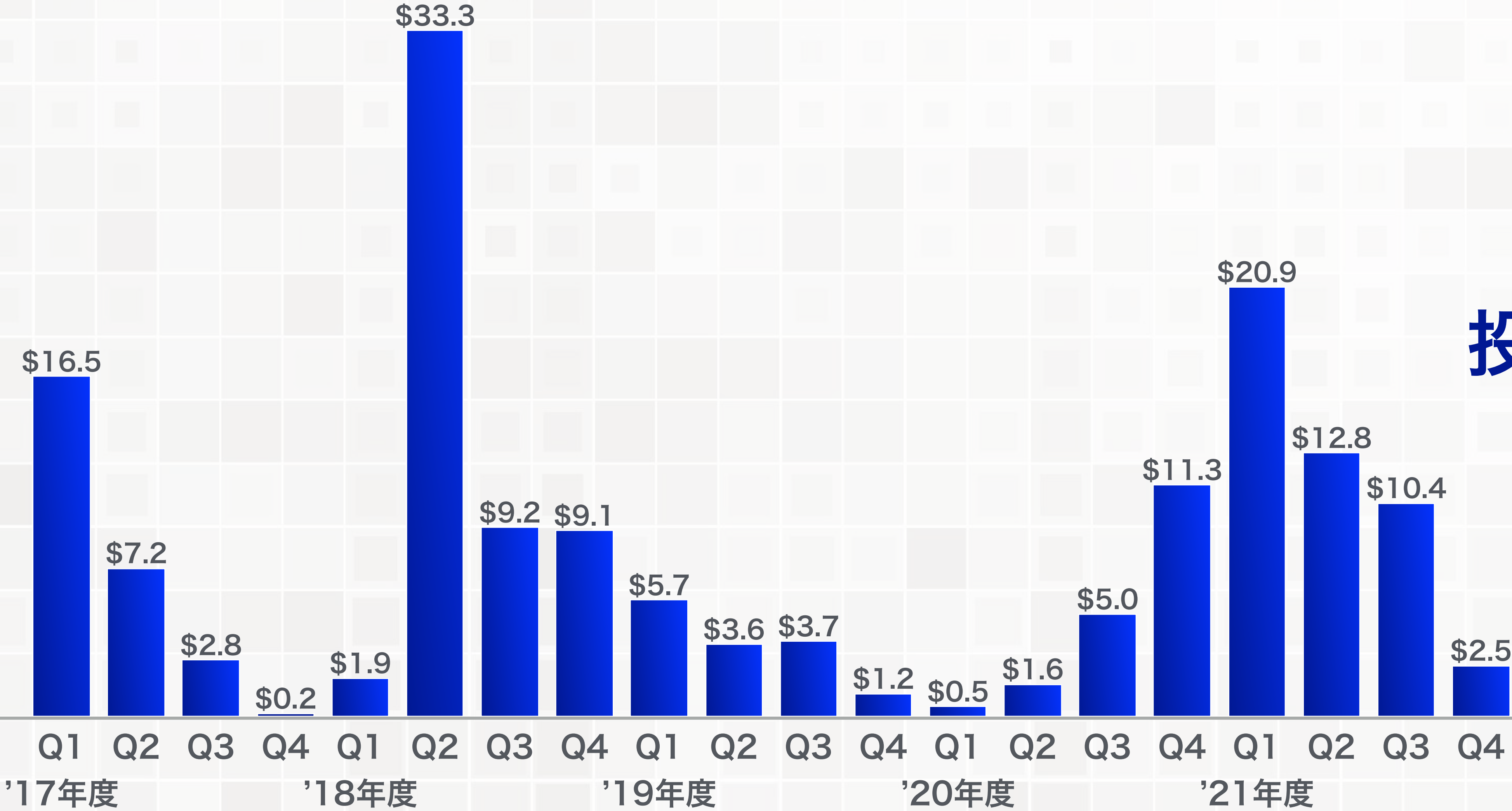
投資資金 ('21年度) (12ヶ月累計)



各期の平均レート等により円換算
 Vision Fund等への拠出：SVF1への拠出額(\$0.6bn)、SVF2への拠出額 (SBGからSVF2へ売却または現物出資により移管した案件(Cybereason・Treasure Data・InMobi・WeWork・PayPay・Ola Electric・Kigen)への拠出分を含む)(\$41.4bn)、LatAm Fundsへの拠出額(\$4.2bn)の合計
 Vision Fund他 上場株式の売却 アセットファイナンス等：SVF1からの分配(\$6.8bn)、SVF2からの分配(\$8.4bn)、SB Northstarからの資金還流(\$4.8bn)、Alibaba株式を活用した先渡売買契約・マージン・ローンによる調達額 (マージン・ローンの返済額、及び、先渡売買契約のうち既存契約のロールオーバー及び早期解約を考慮後の純額)(\$11.0bn)、Tモバイル株式・ドイツテレコム株式を活用した先渡売買契約・マージン・ローン等による調達額(マージン・ローンの返済額を考慮後の純額)(\$3.2bn)、SBGからSVF2へ売却及び現物出資により移管した案件(Cybereason・Treasure Data・InMobi・WeWork・PayPay・Ola Electric・Kigen)の移管価額(\$6.1bn)、Arm株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる調達額 (\$8.0bn)、その他上場株式等の売却(\$1.1bn)の合計

Vision Fund等 投資承認額*

(\$bn)



投資を厳選

Vision Fund等：SVF1、SVF2、LatAm Funds

投資承認額：各ファンドの投資委員会承認額(承認済で投資完了前の会社を含む、追加投資の承認額を含む)

*22年4月22日より、ラテンアメリカ・ファンドはSBGAによる運営に移行

本スライドに記載された計画は実現することを保証するものではなく、そのような計画はすべて不確実性とリスクを伴います。

本スライドに記載されている投資が最終的にSVF2、LatAm FundsまたはSBIA、SBGA、SBLA及びその他の当社グループ企業によって将来運用されるいかなるファンドによっても取得される保証はありません。

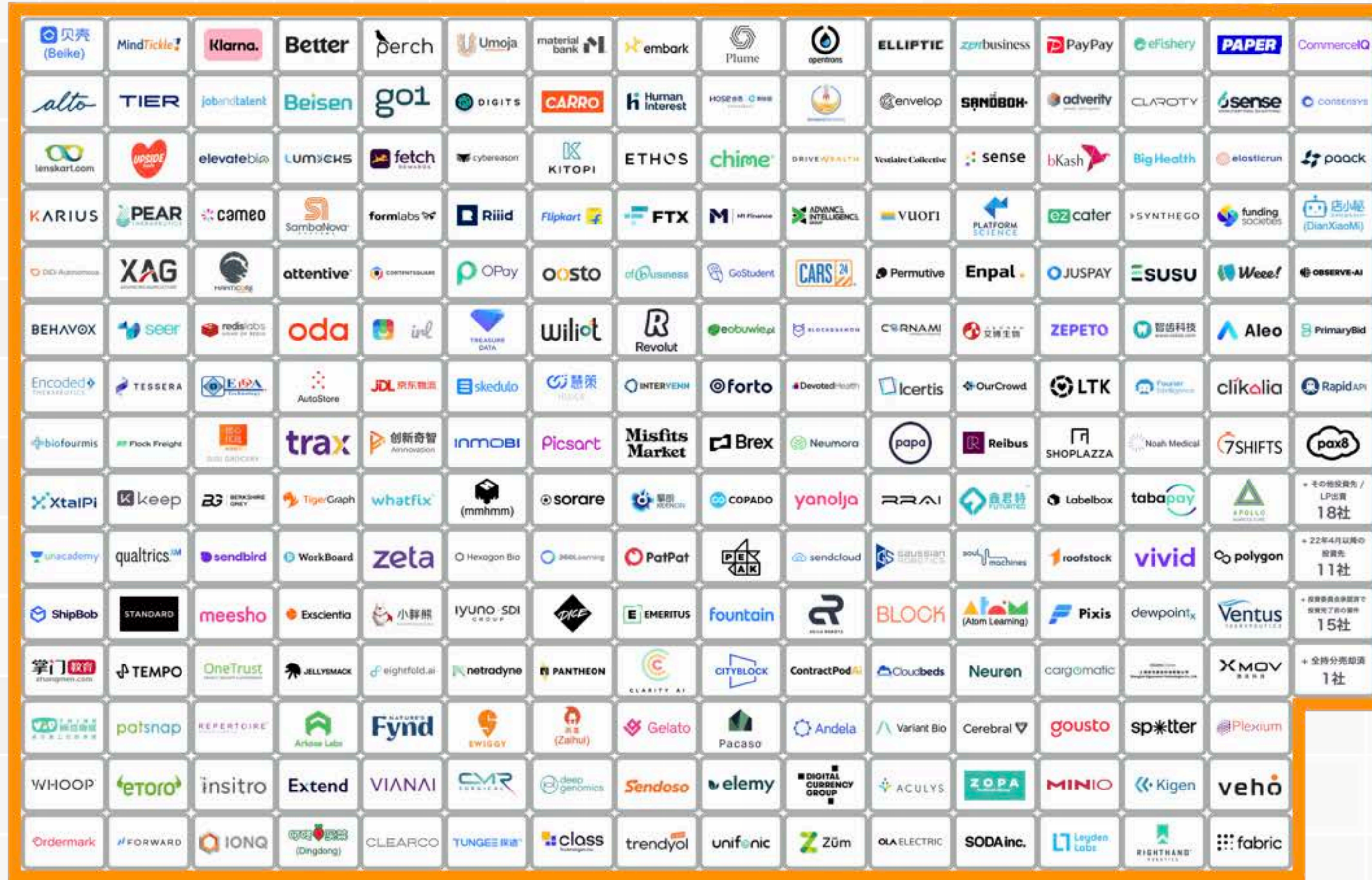
SoftBank Vision Fund等 475社

(投資委員会承認済で投資完了前の15社を含む)

SVF1 (94社)



SVF2 (278社)



LatAm Funds (103社)



SVF1, SVF2 : SBIA, SBGAが運営しているファンド

LatAm Funds : SBLAが運営しているファンド ('22年3月31日時点)。

なお、'22年4月22日より、ラテンアメリカ・ファンドについても、SVF2の運営会社であるSBGAによる運営へ移行しました。

SoftBank Vision Fund等 (475社) : '22年3月31日時点の投資先 (SVF1=JV/関連会社及び全持分売却済14社を含む94社、SVF2=全持分売却済1社とPolygon(MATICトークンの購入による投資)を含む252社、LatAmFunds=103社)

+ '22年4月1日から'22年5月6日の間に投資したSVF2の投資先(11社) + '22年5月6日時点のSVF2の投資委員会承認済で投資完了前の案件(15社)の合計

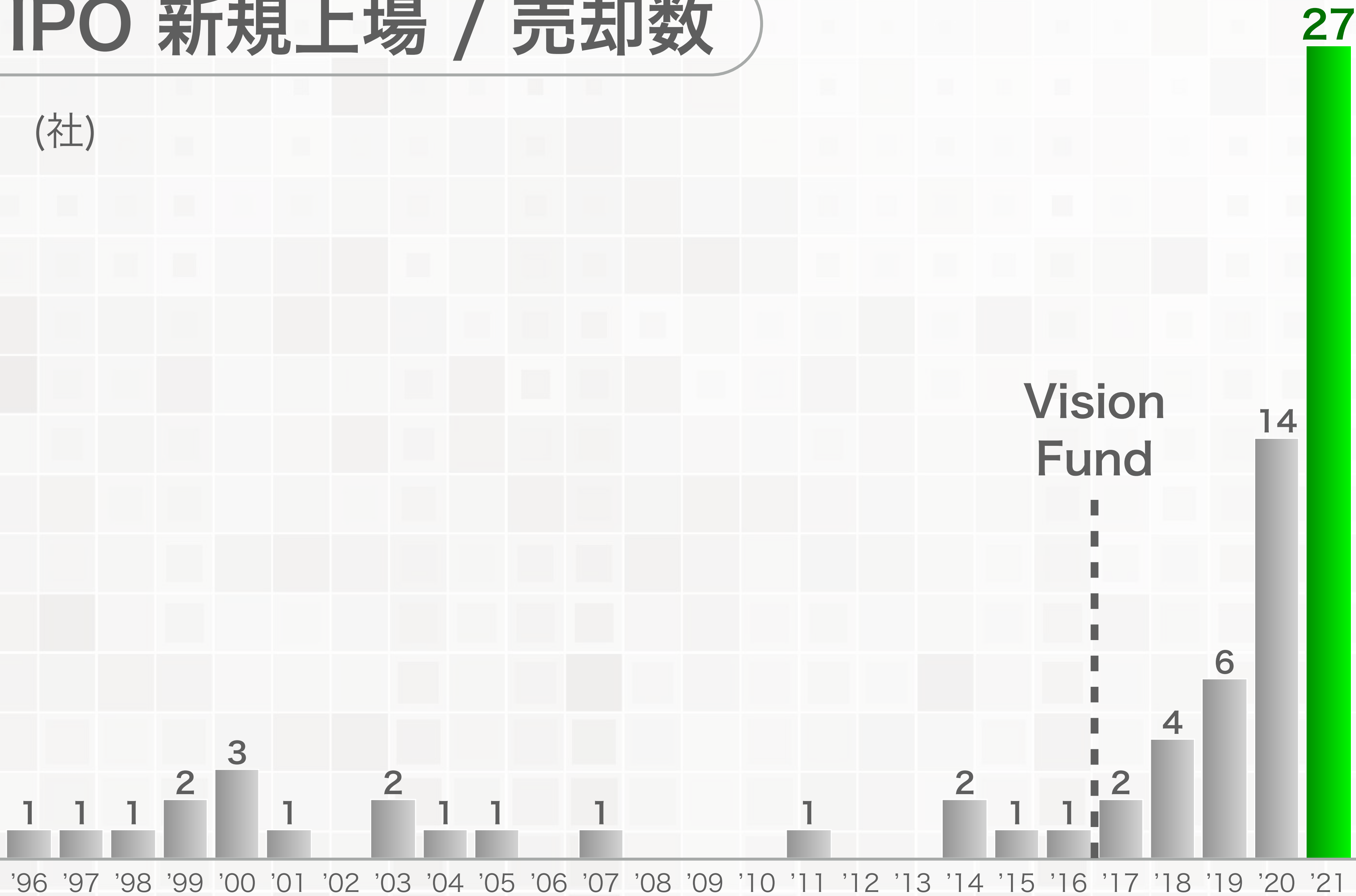
SVF2(278社) : '22年3月31日時点の投資先 (全持分売却済1社を含む252社) + '22年4月1日から'22年5月6日の間に投資したSVF2の投資先(11社) + '22年5月6日時点のSVF2の投資委員会承認済で投資完了前の案件(15社)の合計

LatAm Funds(103社) : LatAm Fund 1の投資先(60社)、LatAm Fund 2の投資先(52社)、SBLAFの投資先(1社)の合計(内10社はLatAm Fund 1、2両方の投資先)

SVF2 : その他投資先/LP出資(18社) : Full Truck Alliance、7wireVentures、WeWork、FTX US Cryptocurrency Exchange、Northstar Equity Partners V Limited、Merantix、Paradigm、Brex Venture Debt Fund、Liberty Strategic Fund、M²、非開示企業(8社)

IPO 新規上場 / 売却数

(社)



過去最高

IPO 新規上場 = 初期投資以降にIPO・直接上場またはSPACとの合併により証券を上場した企業(投資コストを上回ったか否かは考慮せず、またファンド事業以外の傘下で保有議決権比率5%未満の投資先は除外する。暗号資産は証券に該当しないため含まない)

売却 = 投資利益100億円以上の売却を発表した企業(完了していない案件を含む)

同じ企業でIPO 新規上場と売却の両方がある場合は、上場の時期を優先してカウントし、重複カウントは行わない。

上場子会社の傘下でIPO 新規上場または売却した企業は含まない。

Vision Fund : SVF1の初回クローゼイング完了('17年5月)

Vision Fund 分配金 (累計)

5.3兆円
(\$47.3bn)

1.0兆円
(\$8.6bn)

Vision Fund 2

4.3兆円
(\$38.7bn)

Vision Fund 1

'22年3月末

分配金：ファンド開始以来の累計分配額
リミテッド・パートナーに分配された売却益、資金調達額、優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)を含む
再コール可能な使用済の拠出額返還額または再コール不可な使用済の拠出額返還額を含むが、再コール可能な未使用の拠出額返還額または留保され再投資された拠出額を含まない
各四半期の期末レートにより円換算

Vision Fund 分配金 (累計)

5.3兆円
(\$47.3bn)

1.0兆円
(\$8.6bn)

0.9兆円
(\$7.6bn)

3.4兆円
(\$31.1bn)

Vision Fund 2

Vision Fund 1 (SBG)

Vision Fund 1 (SBG以外のLP)

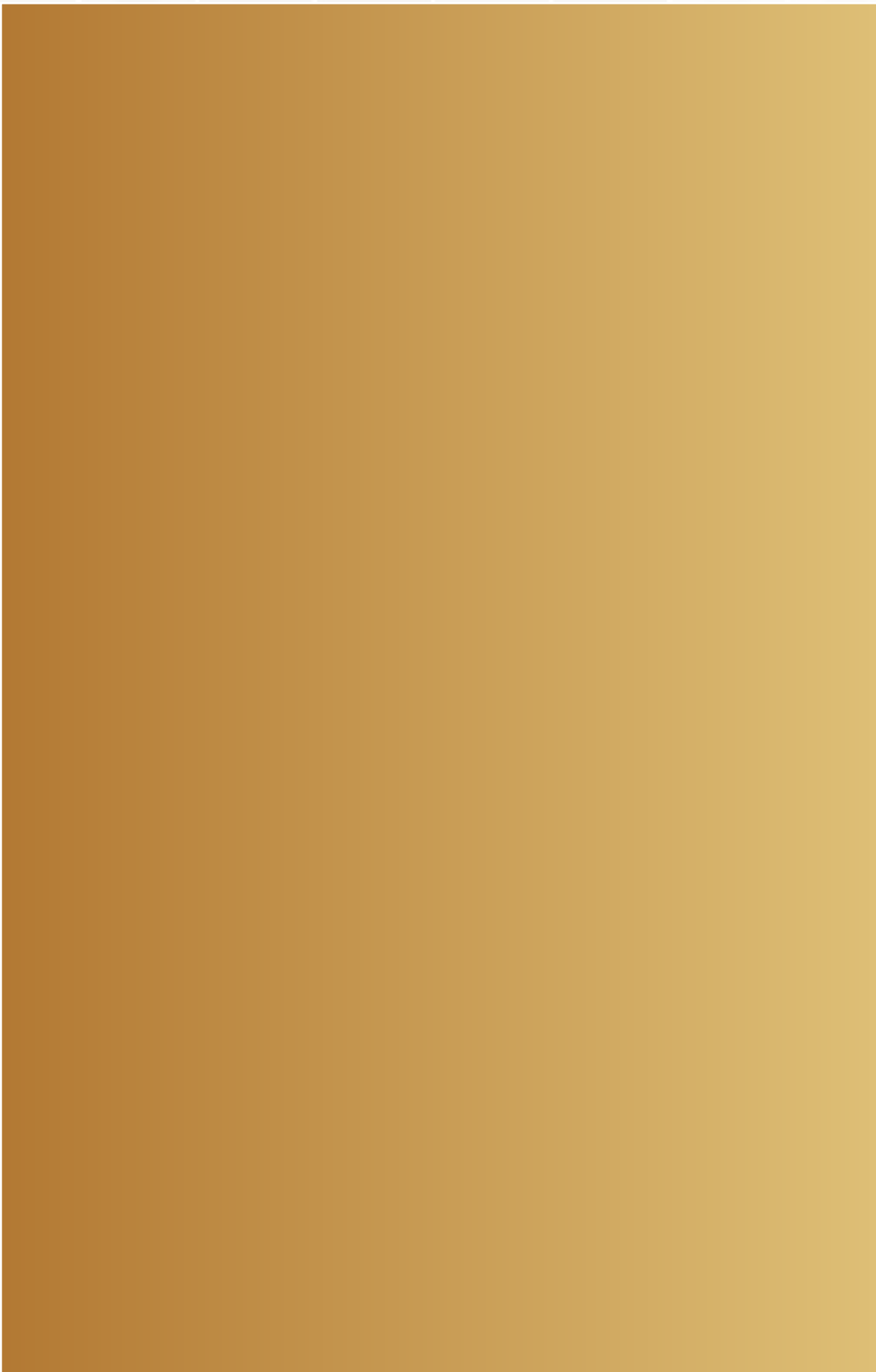
'22年3月末

VISION FUND 1 (SBG) : インセンティブ・スキームへの分配額(\$0.5bn)を含む
VISION FUND 2 : 他のLPからSBGへ支払義務のある調整額(equalization amount)の代わりに、SBGへ支払われた分配額(\$0.2bn)を含む
分配金 : ファンド開始以来の累計分配額
リミテッド・パートナーに分配された売却益、資金調達額、優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)を含む
再コール可能な使用済の拠出額返還額または再コール不可な使用済の拠出額返還額を含むが、再コール可能な未使用の拠出額返還額または留保され再投資された拠出額を含まない
各四半期の期末レートにより円換算

保有資産の売却・資金化 ('18年度以降)

('22年3月末時点)

14.8兆円



豊富な実績

(売却・アセットファイナンス・配当等)

- ・ SBKK：'18年12月のSBKKの上場時及び上場以降に実施した売却による手取金及び一部譲渡による譲渡価額(3.9兆円)、『19年度以降に受領した配当金(0.6兆円)、『22年3月末時点のソフトバンク株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額(0.5兆円)の合計
- ・ Alibaba：'19年度以降に実行したアリババ株式を活用した複数の先渡売買契約による調達額(既存契約のロールオーバー及び早期解約を考慮後の純額)(\$29.8bn)、『22年3月末時点のアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額(\$6.0bn)の合計
- ・ Tモバイル/ドイツテレコム：'20年度以降に実行したTモバイル株式の売却価額の総額(\$20.1bn)、Tモバイル株式を活用した先渡売買契約及びドイツテレコム株式を活用したカラー取引による調達額(\$5.5bn)、『22年3月末時点のTモバイル株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額(SBGによる当該保証債務の上限枠を控除した金額)(\$1.5bn)の合計
- ・ Arm: Arm株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる調達額(\$8.0bn)
- ・ Vision Fund 1：SBGへのVision Fund 1開始以来の累計分配額(インセンティブ・スキームへの分配額(\$0.5bn)を含む)(\$7.6bn)
- ・ Vision Fund 2：SBGへのVision Fund 2開始以来の累計分配額(\$8.4bn)
- ・ 各四半期の期末レートにより円換算

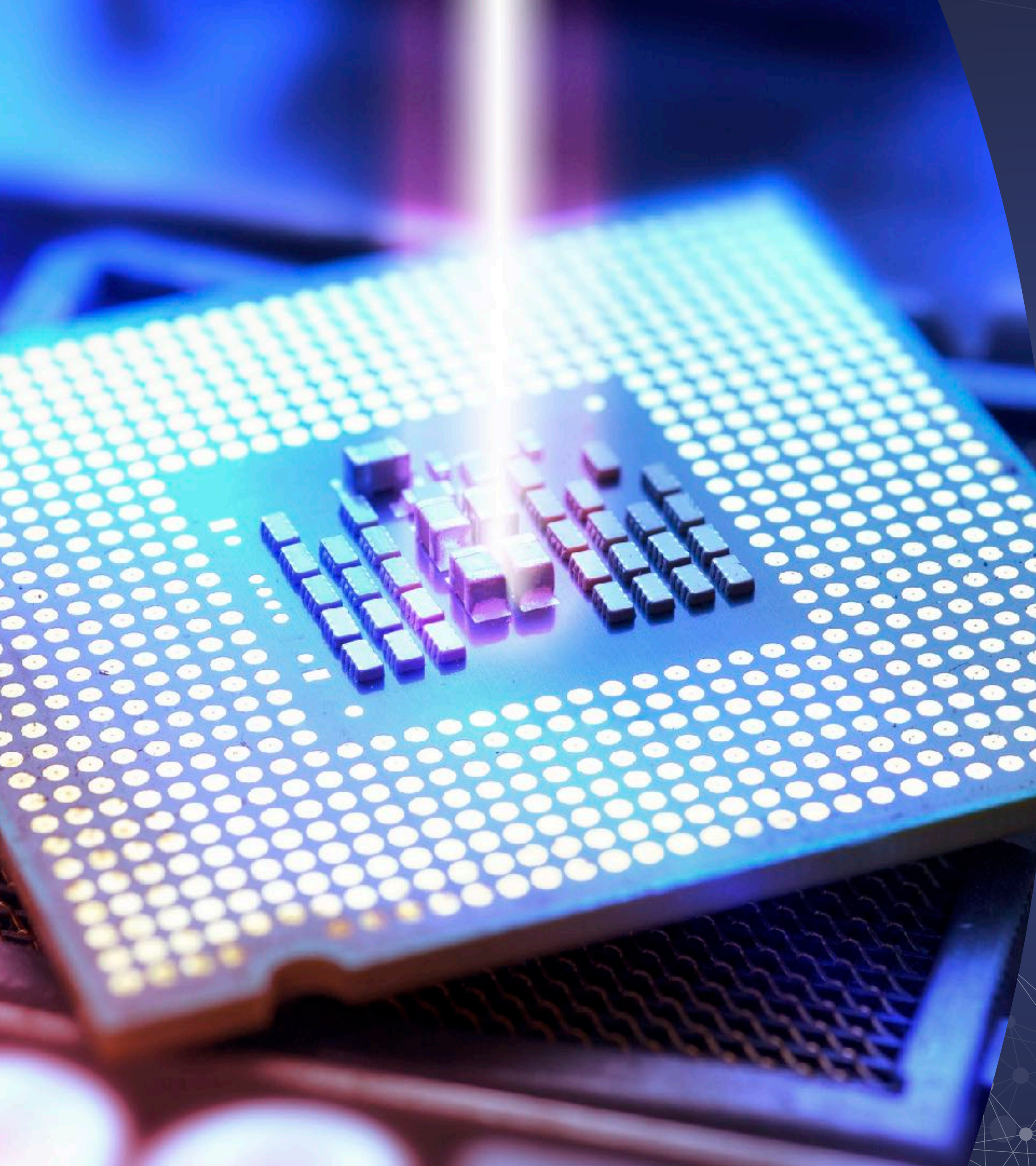
守り

継続的な
資金化

×

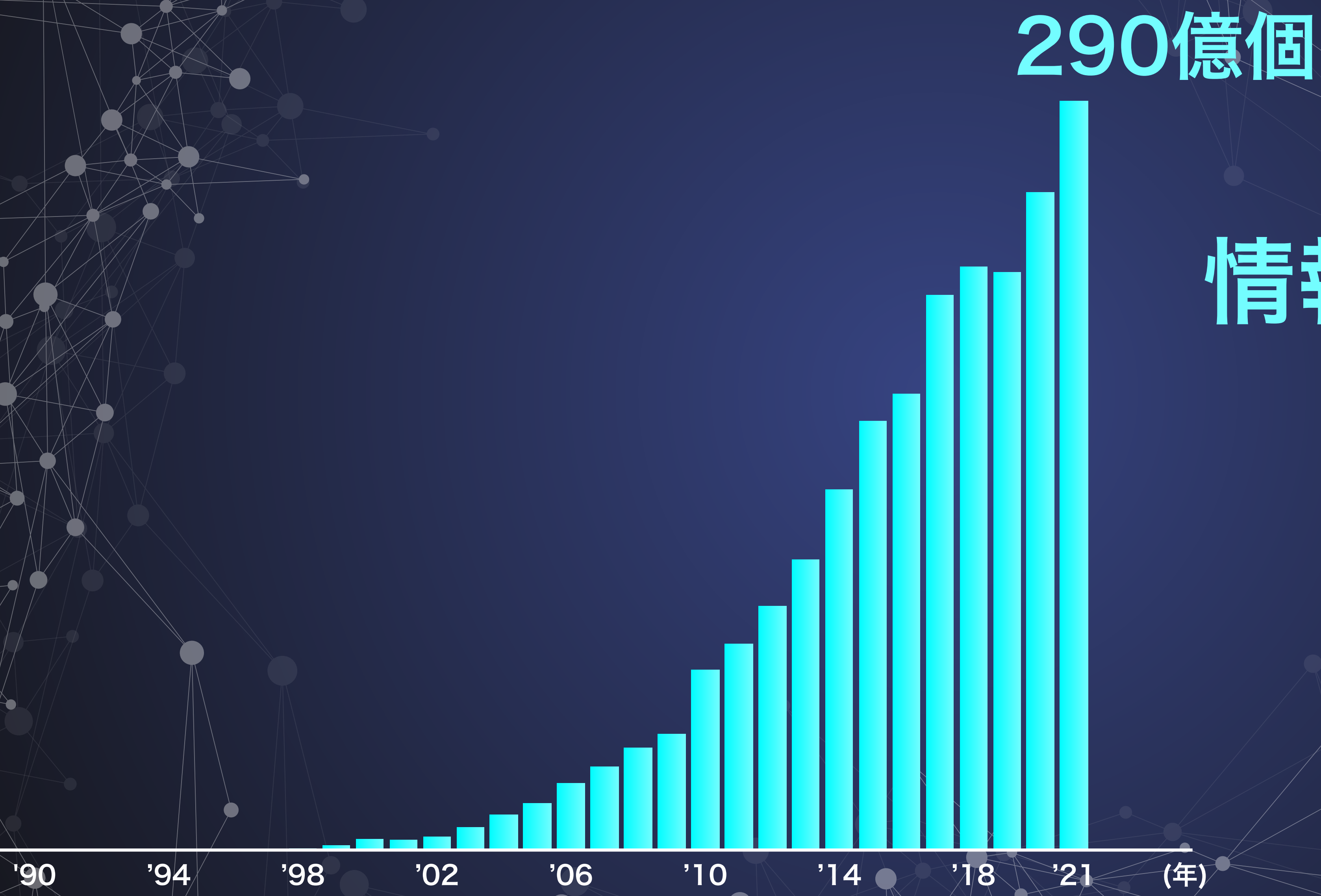
投資基準の
厳格化

攻め



arm

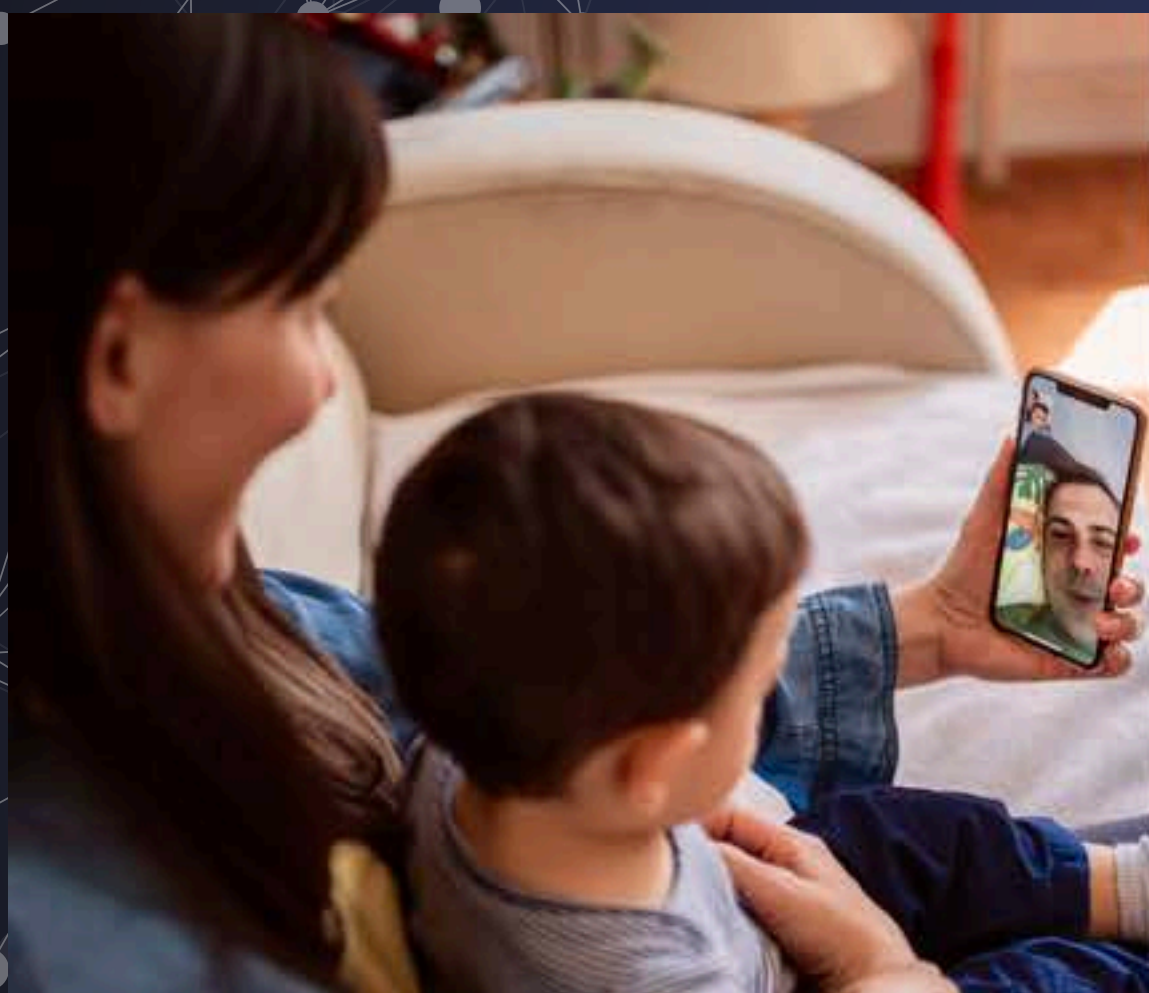
Armベースチップ出荷数 (単年)



情報革命を牽引

Armベースチップ出荷数：単年の出荷数 (出所) Arm
本スライドは例示のみを目的として提供しており、Armから提供された情報に基づいて作成しています。
SBG、SVF1、SVF1のジェネラル・パートナー又はSBIAが情報の正確性を保証するものではなく、情報を更新する義務を負いません。

モバイル



95%

IoT



63%

自動車



24%

クラウド



5%

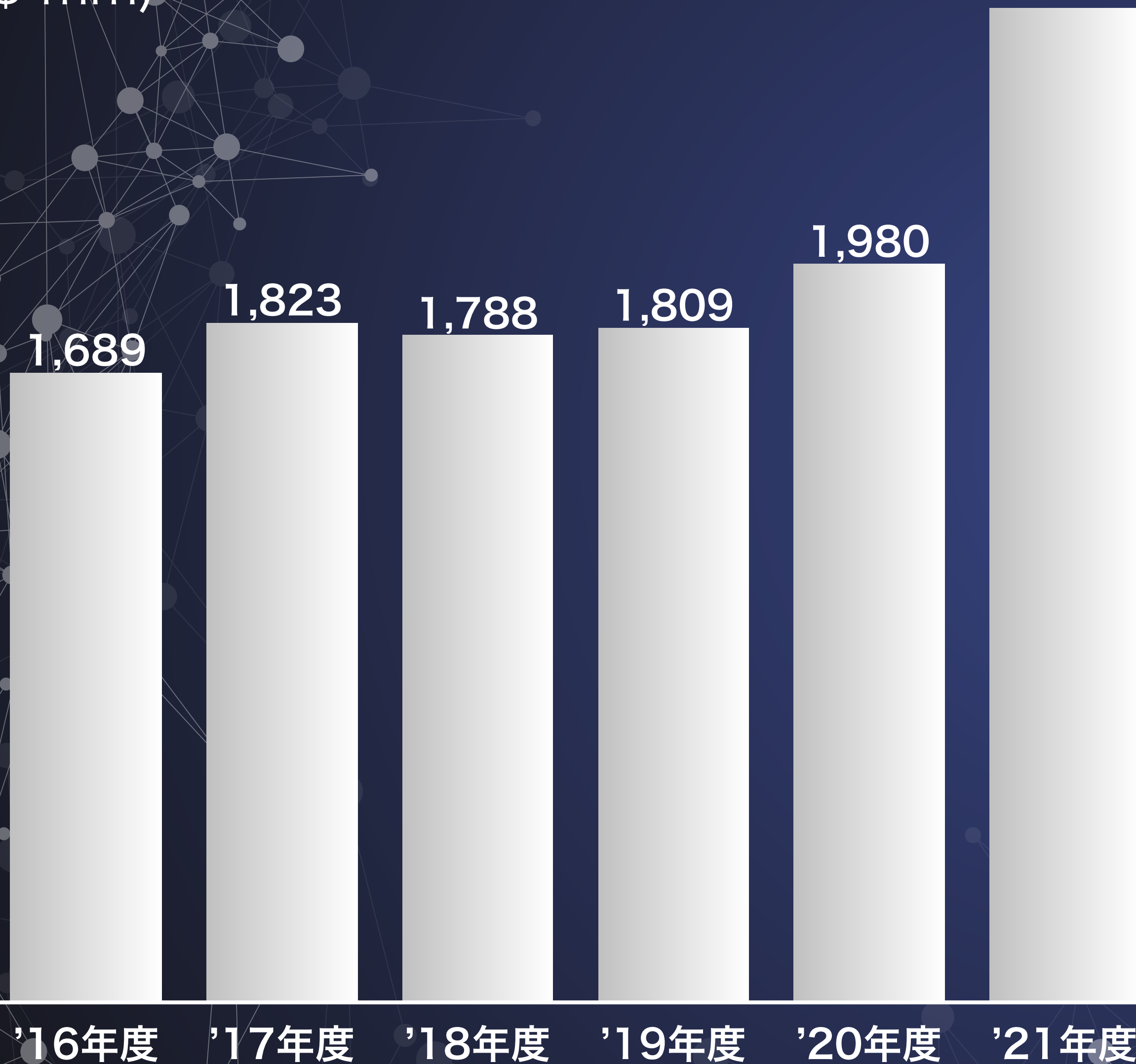
成長産業のキープレイヤーに

モバイル：スマートフォンとタブレットのアプリケーションプロセッサにおけるマーケットシェア(数量ベース)、IoT：産業向け・IoT製品向けの組込型チップ及びIoTチップにおけるマーケットシェア(数量ベース)、自動車：プロセッサを搭載した自動車向けチップにおけるマーケットシェア(数量ベース)、クラウド：クラウド事業者のサーバにおけるマーケットシェア(数量ベース)、各'21年の年間マーケットシェア、(出所) Armによる推定 ('22年4月提供) 本スライドは例示のみを目的として提供しており、Armから提供された情報に基づいて作成しています。SBG、SVF1、SVF1のジェネラル・パートナー又はSBIAが情報の正確性を保証するものではなく、情報を更新する義務を負いません。

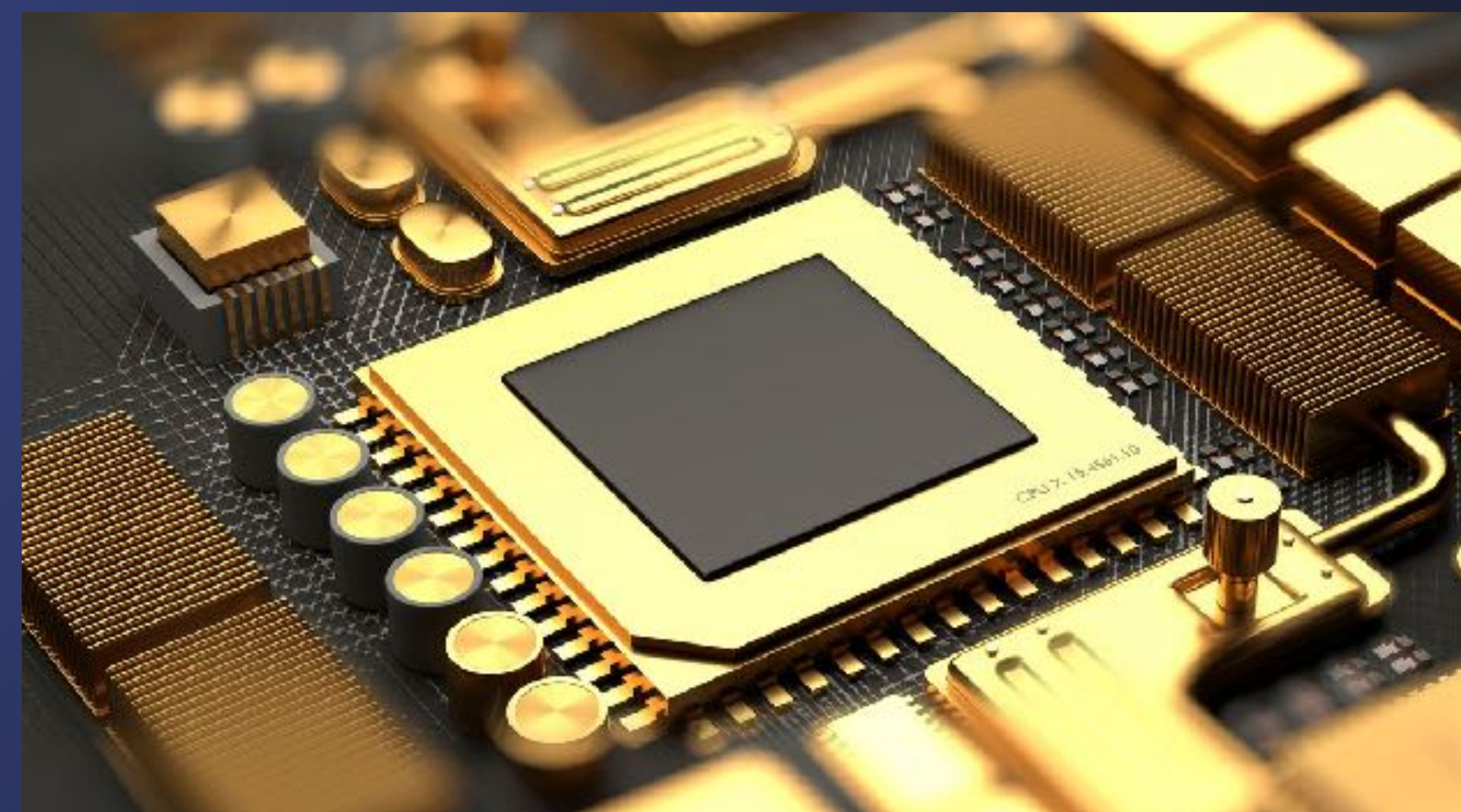
売上高 (年間)

(\$ mm)

\$2,665mm



第2の成長期へ



(出所) Arm

'17年度以降：ISG事業を除く

ISG事業：Internet-of-Things Services Group；IoTに関連するサービスグループ

IFRSを基準としていますが、完全に準拠しているとは限りません。

全ての数字は未監査であり、方向性を示す目的としてのみ情報を提供しています。

全ての数字は暫定的なものであり、変更になる可能性があります。

SBG、SVF1、SVF1のジェネラル・パートナー又はSBIAが情報の正確性を保証するものではなく、情報を更新する義務を負いません。

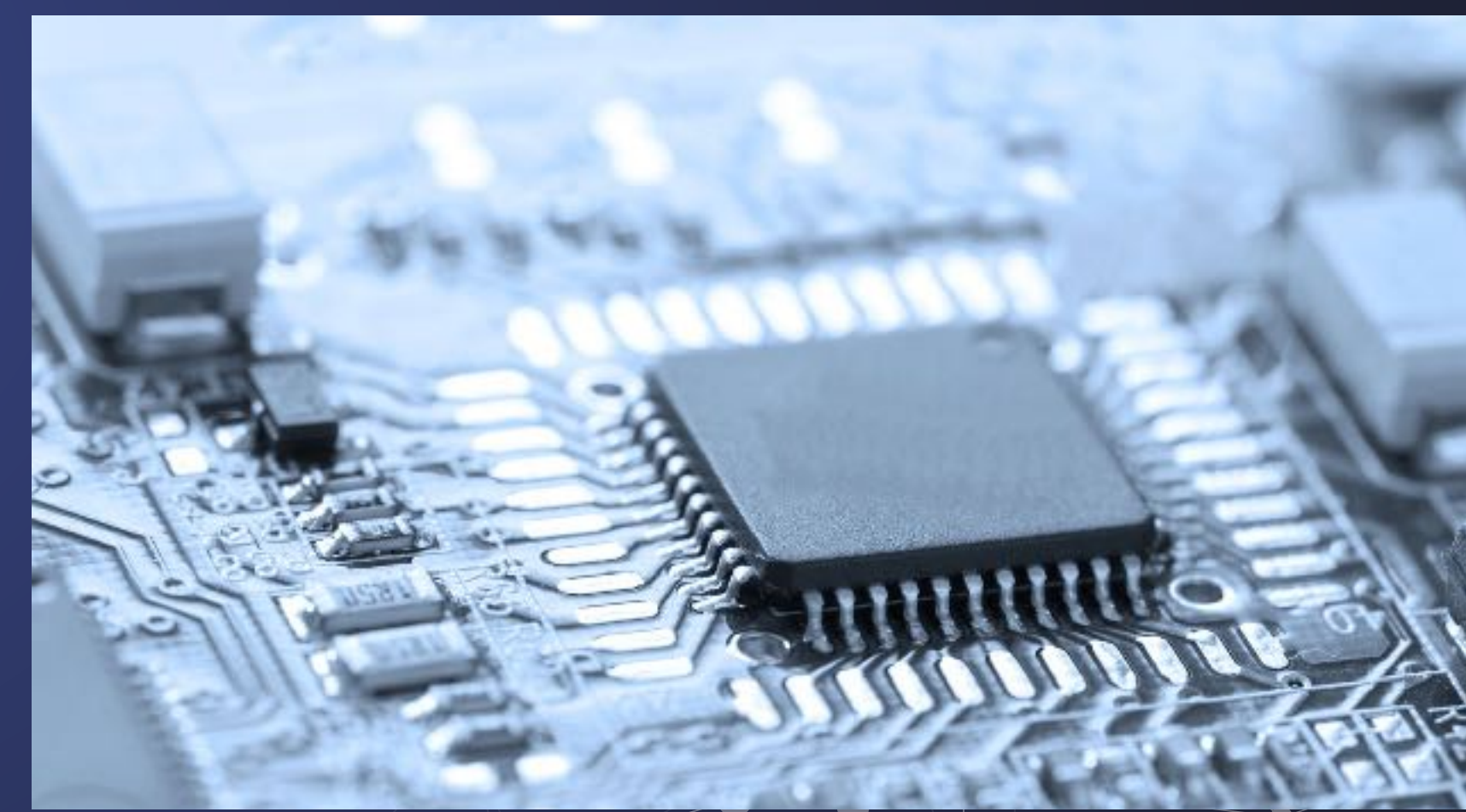
調整後EBITDA (年間)

(\$ mm)

\$999mm



V字回復



(出所) Arm

'18年度～'19年度：ISG事業に係る直接費用を除く

'20年度～'21年度：ISG事業に係る直接費用及びISG事業に関連する本社費用を除く

ISG事業：Internet-of-Things Services Group；IoTに関連するサービスグループ

IFRSを基準としていますが、完全に準拠しているとは限りません。

全ての数字は未監査であり、方向性を示す目的としてのみ情報を提供しています。

全ての数字は暫定的なものであり、変更になる可能性があります。

SBG、SVF1、SVF1のジェネラル・パートナー又はSBIAが情報の正確性を保証するものではなく、情報を更新する義務を負いません。

アーキテクチャ別 製品例



(ゲーム)
GAME BOY
ADVANCE



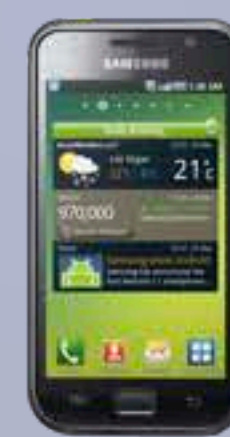
(ゲーム)
NINTENDO
DS



(従来型)
NOKIA 6620



(スマホ)
HTC Dream



(スマホ)
Samsung
Galaxy S



(自動運転車)
Audi A8L



(スパコン)
富岳



(スマホ)
Samsung
Galaxy S22

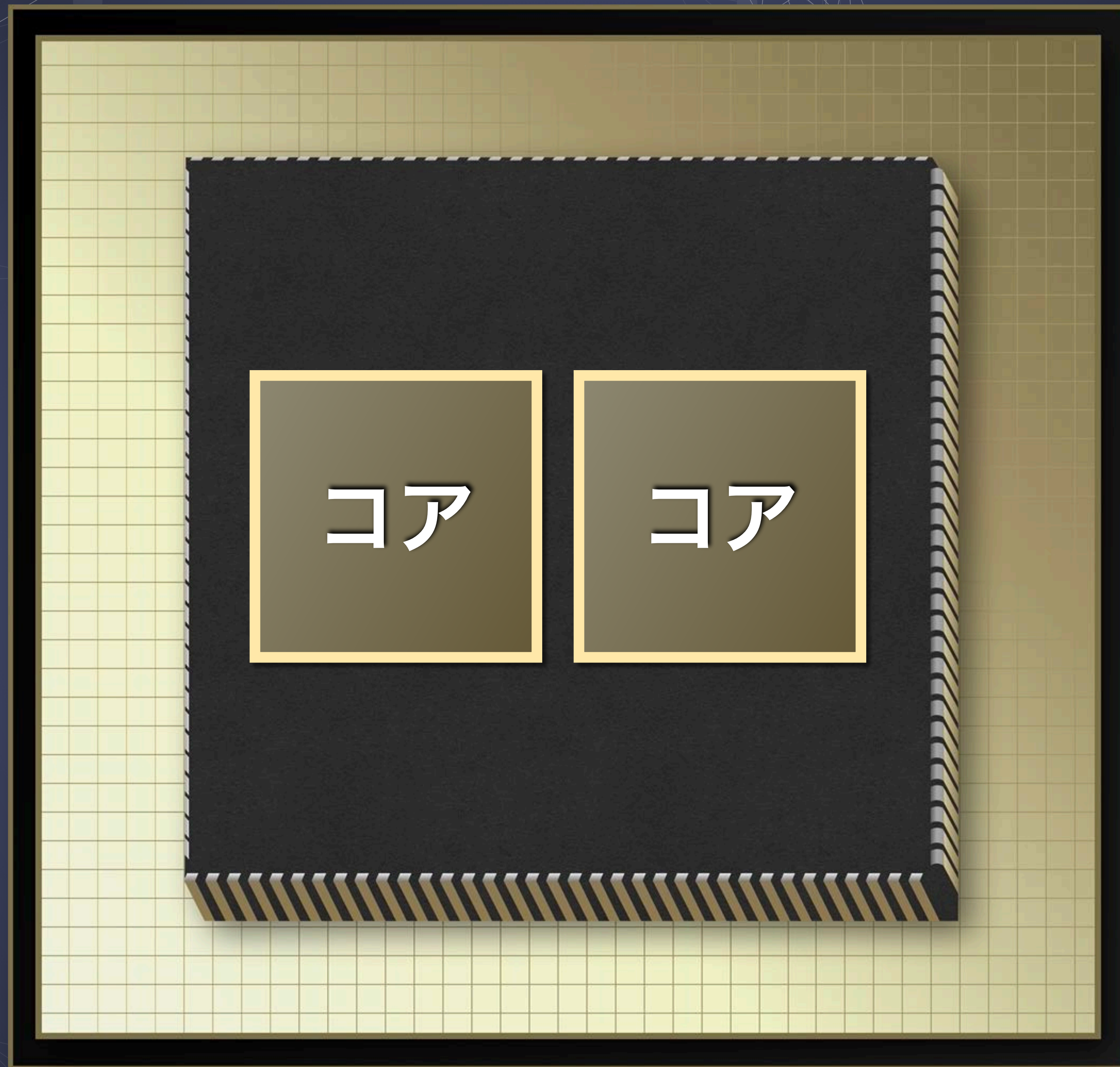
拡大へ

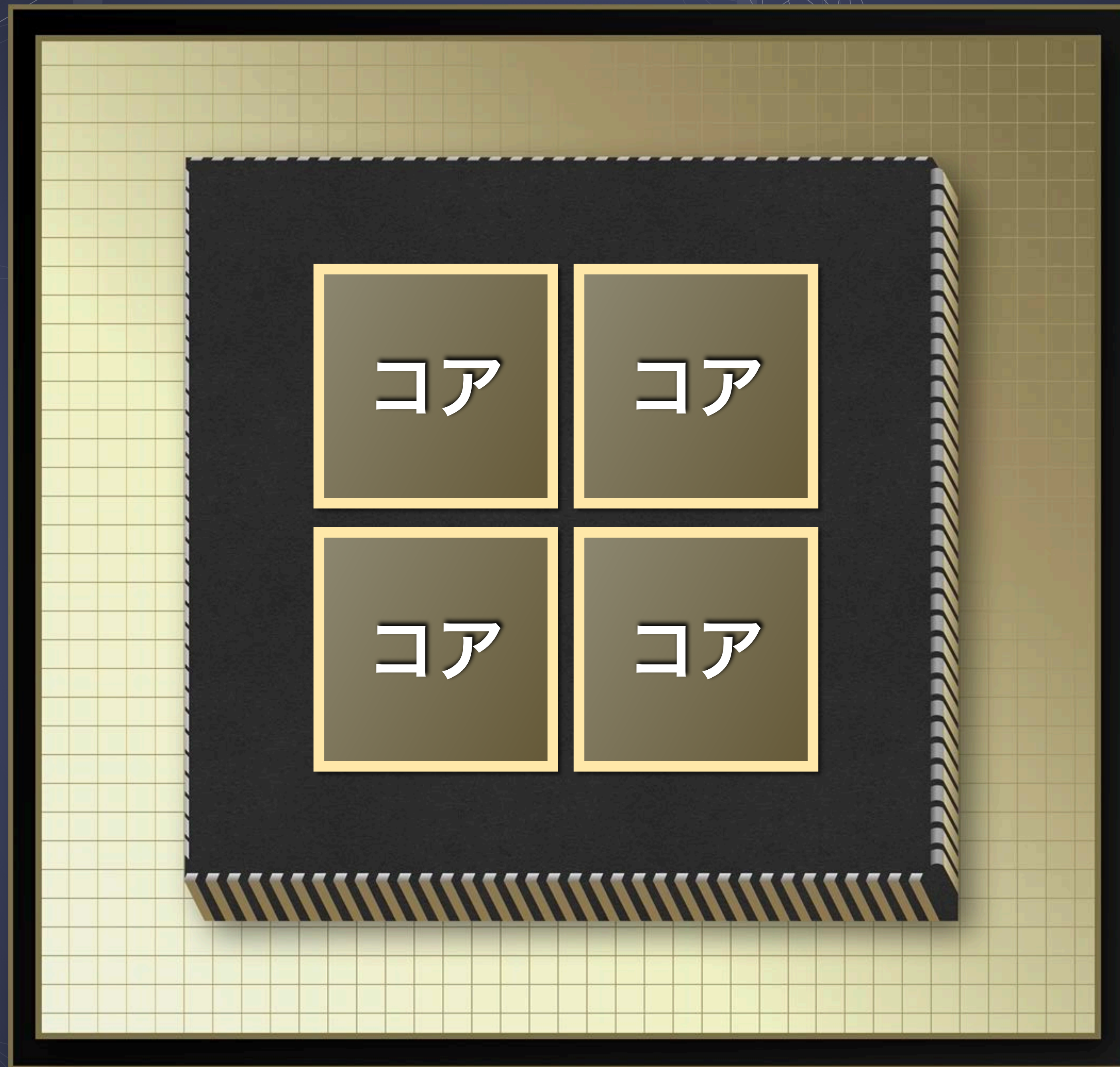
自動運転：特定の市場で利用可能なレベル3の自動運転機能
(出所) Arm

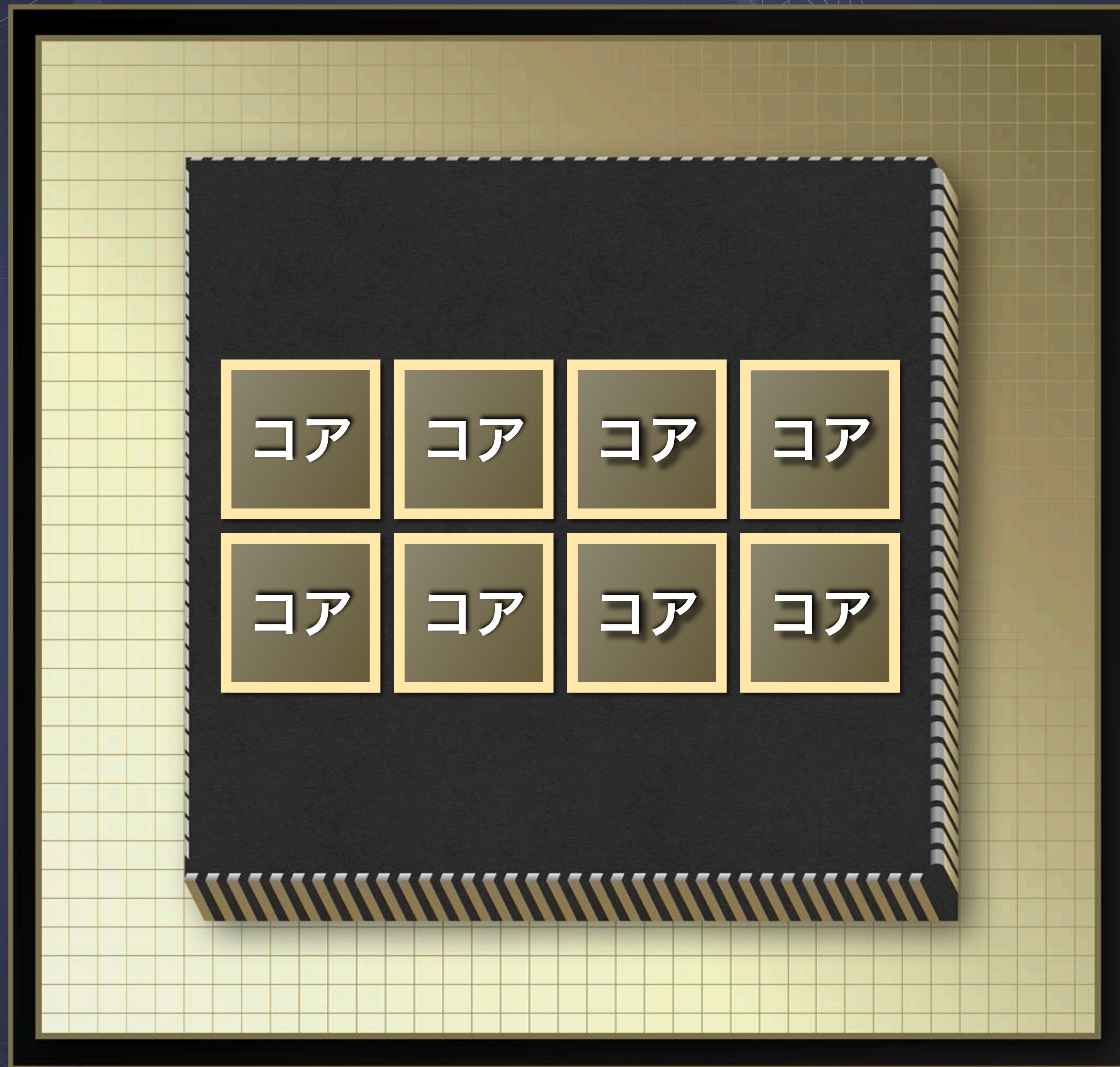
本スライドは例示のみを目的として提供しており、Armから提供された情報に基づいて作成しています。
SBG、SVF1、SVF1のジェネラル・パートナー又はSBIAが情報の正確性を保証するものではなく、情報を更新する義務を負いません。

さらなる成長への鍵
マルチコア

コア







マルチコア (スマホ)

v7

'10年



'11年



'12年



'13年



v8

'15年



v9

'22年



機種	Samsung Galaxy S	Samsung Galaxy S2	Samsung Galaxy S3	Samsung Galaxy S4	Samsung Galaxy S6	Samsung Galaxy S22
コア数	1	2	4	8	8	8

マルチコア (クラウド)

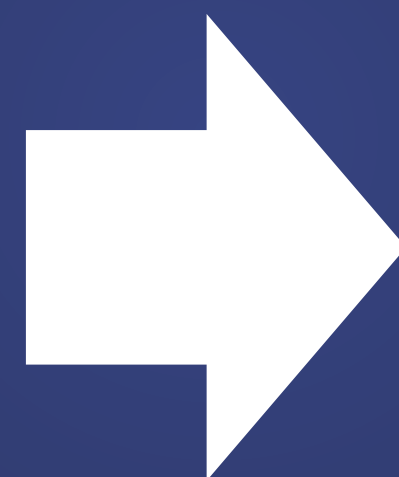


CPU	Energy Core	X-Gene	Opteron Seattle	Thunder-X2	A64FX	Graviton2	Altra	Altra Max	Yitian 710	Grace
コア数	4	8	8	32	48	64	80	128	128	144

スマホ



従来型スマホ



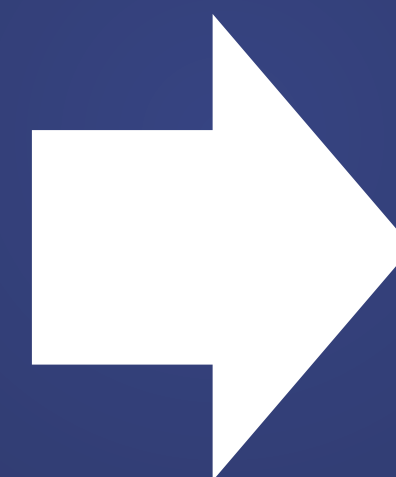
5G

AI・メタバース・ゲーム
動画・グラフィック等

IoT

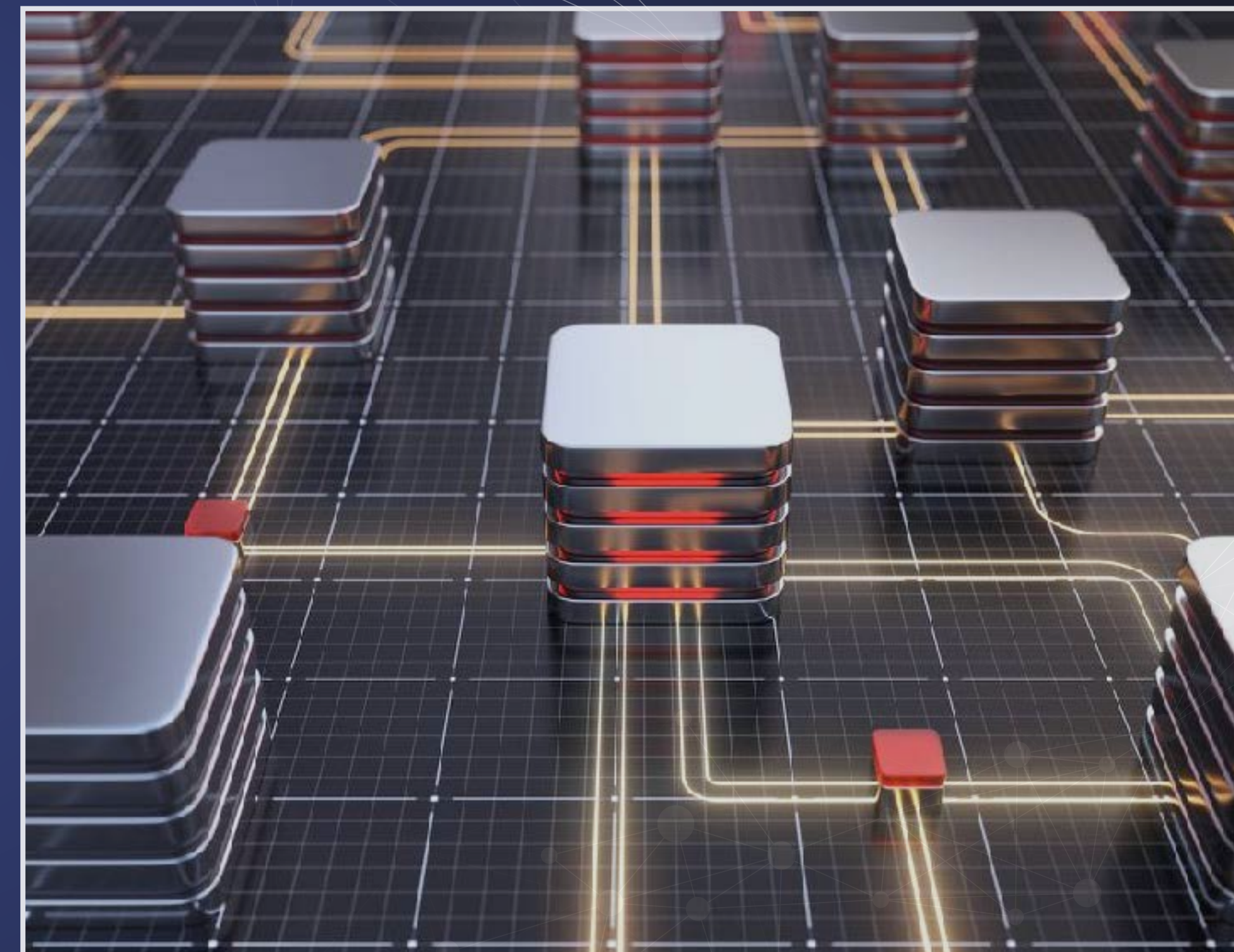
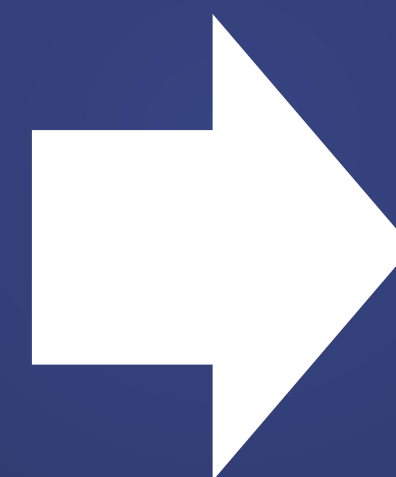


リモコン



スマートホームデバイス
スマートスピーカー等

クラウド



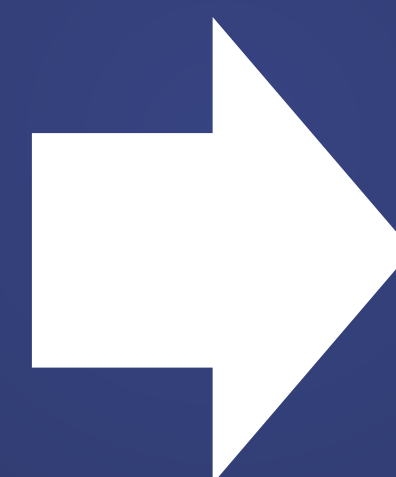
従来型クラウド

スーパークラウド

自動車



自動車



電気自動車

自動運転車

スマート自動車

The background features a complex network of interconnected nodes and lines, resembling a molecular or data network, set against a dark blue gradient. The nodes are represented by small circles of varying sizes, and the lines are thin and light-colored, creating a web-like structure that fills the entire frame.

arm

さらなる成長へ

(SBGからの追加資金は不要)

arm

上場準備へ

Arm Chinaのガバナンスは正常化



情報革命の歴史

時価総額 (世界)

(1994年を1として指数化)

30倍 インターネット (2000年)



インターネット時価総額：'94年12月末を起点として四半期末の推移を表示、(出所) S&P Capital IQを基に当社推計、為替レート：各四半期末時点

'00年3月末時点

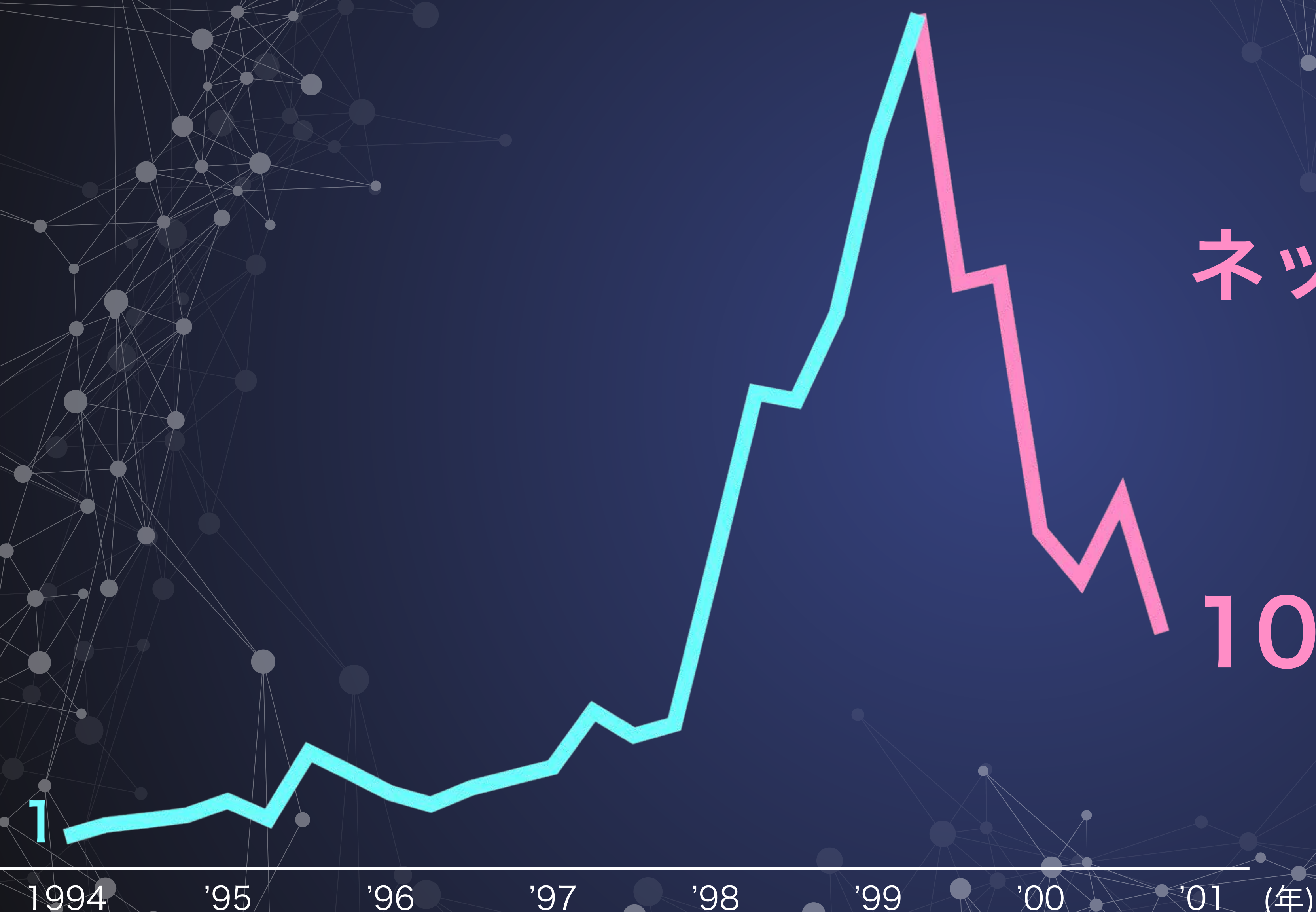
時価総額 (世界)

(1994年を1として指数化)

30倍 (2000年)

ネットバブル崩壊

10倍 インターネット (2001年)



'01年9月末時点

インターネット時価総額：'94年12月末を起点として四半期末の推移を表示、(出所) S&P Capital IQを基に当社推計、為替レート：各四半期末時点

時価総額 (世界)

(1994年を1として指数化)

100倍 インターネット (2007年)



インターネット時価総額：'94年12月末を起点として四半期末の推移を表示、(出所) S&P Capital IQを基に当社推計、為替レート：各四半期末時点

時価総額 (世界)

(1994年を1として指数化)

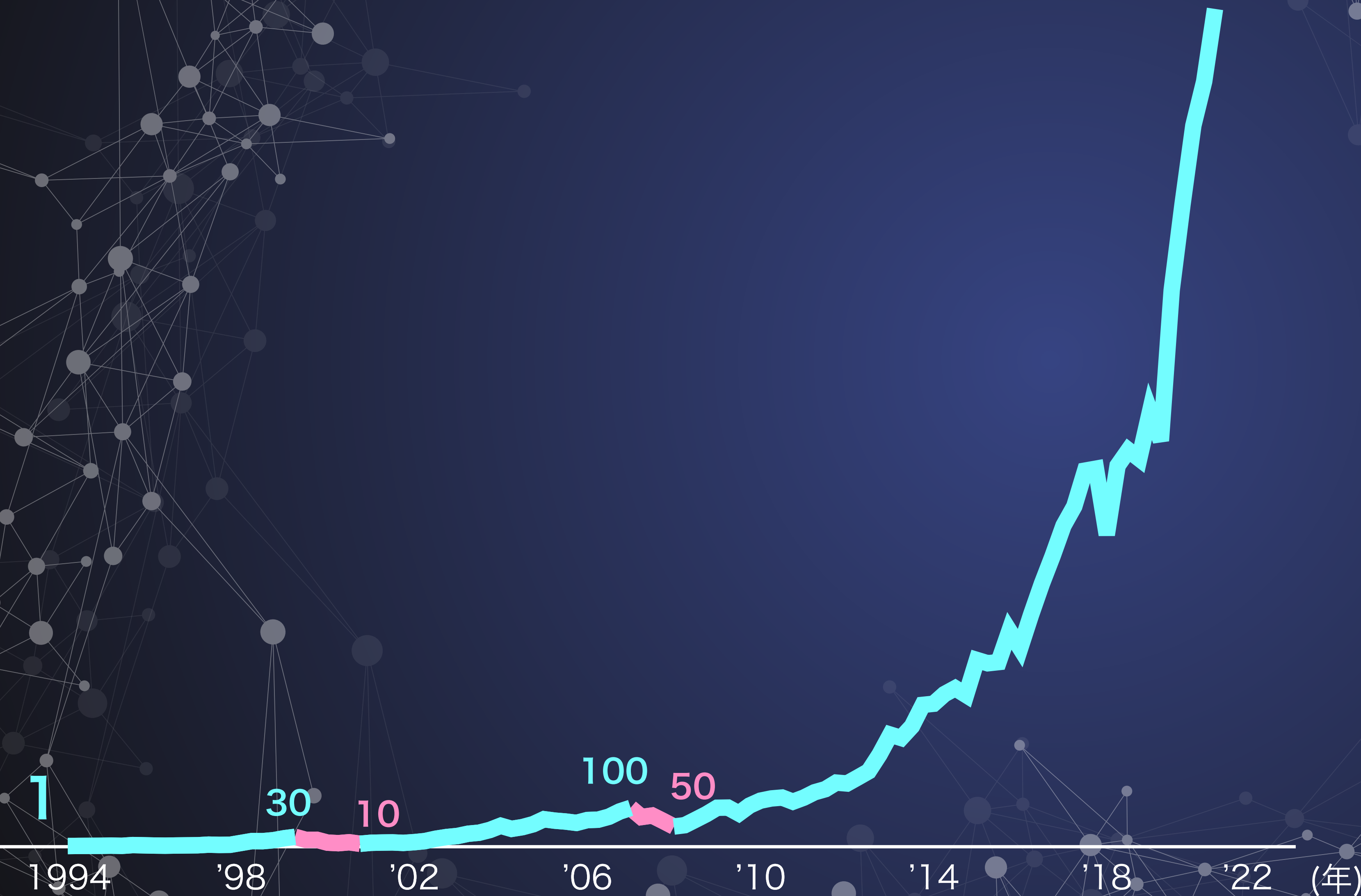


インターネット時価総額：'94年12月末を起点として四半期末の推移を表示、(出所) S&P Capital IQを基に当社推計、為替レート：各四半期末時点

時価総額 (世界)

(1994年を1として指数化)

2,400倍 インターネット (2021年)



インターネット時価総額：'94年12月末を起点として四半期末の推移を表示、(出所) S&P Capital IQを基に当社推計、為替レート：各四半期末時点

時価総額 (世界)

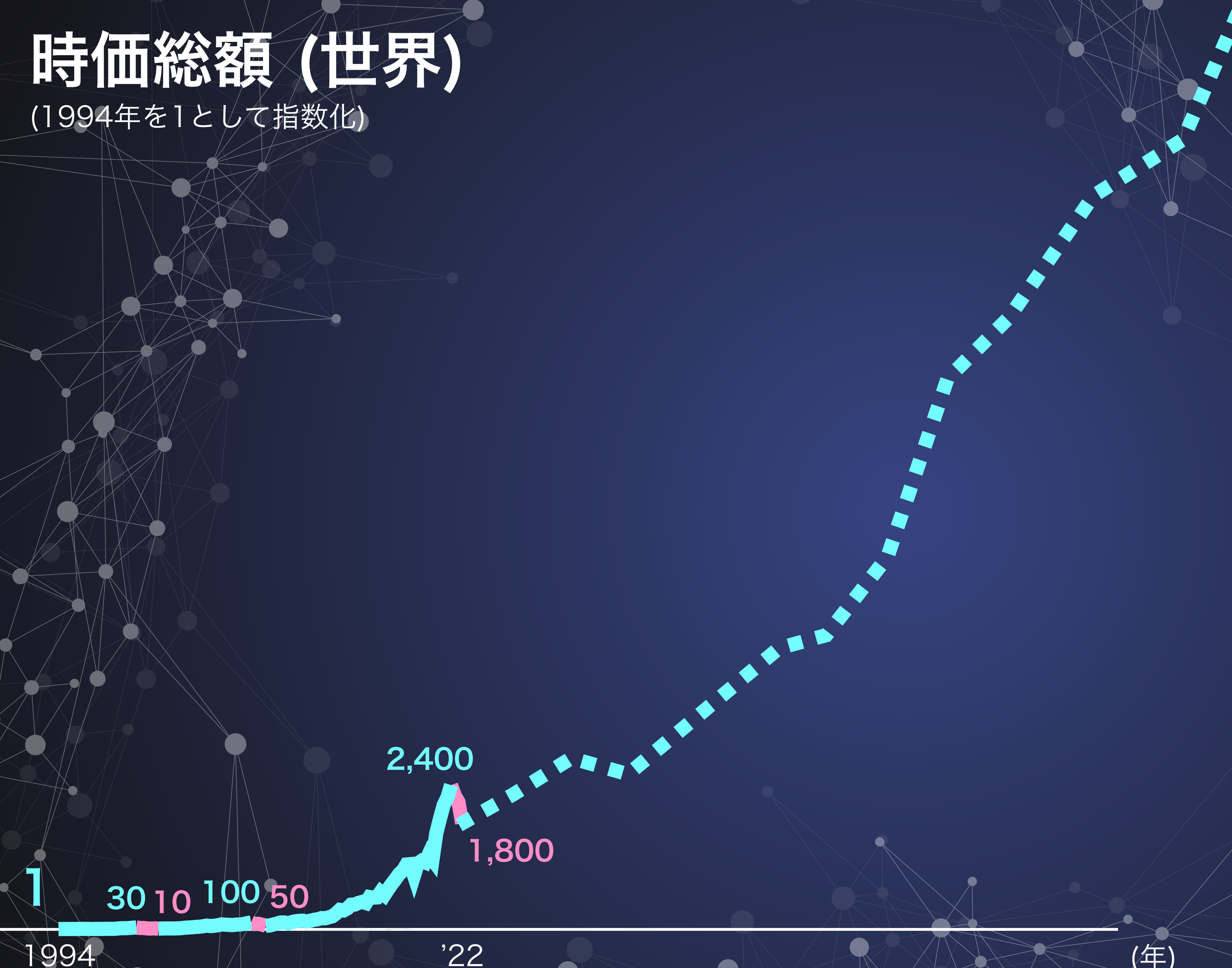
(1994年を1として指数化)



インターネット時価総額：'94年12月末を起点として四半期末の推移を表示、(出所) S&P Capital IQを基に当社推計、為替レート：各四半期末時点

時価総額 (世界)

(1994年を1として指数化)



さらなる 情報革命

'22年3月末以降はイメージ

インターネット時価総額：'94年12月末を起点として四半期末の推移を表示、(出所) S&P Capital IQを基に当社推計、為替レート：各四半期末時点

攻め

SoftBank
Vision Fund

×

arm

結論

事実 ('22年3月)

NAV (時価純資産) 18.5兆円

LTV (純負債/保有株式) 20.4%

現金等 2.9兆円

'22年3月末時点

NAV (時価純資産)・LTV (純負債/保有株式)：詳細はAppendix「NAV・LTVの定義及び算出方法 ('22年3月末時点)」を参照

現金等：手元流動性：現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+コミットメントライン未使用枠('22年3月末時点：1,247億円)、SBG単体ベース(SB Northstarを除く)

守り

継続的な
資金化

×

投資基準の
厳格化

攻め

SoftBank
Vision Fund

×

arm



情報革命で人々を幸せに



Appendix

NAV・LTVの定義及び算出方法（'21年12月末時点）

1. NAV (Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債

2. 保有株式 (保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)

- Alibaba (アリババ)** : SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数に同証券の株価を乗じ、下記の(a)及び(b)を控除して算出
 - (a) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約 (フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド) のうち、未決済分の満期決済金額 (同社株価で算出) の合計額
 - (b) アリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額
- SBKK** : SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じ、同社株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を控除して算出
- SVF1** : SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2** : SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額
- LatAm Funds** : ラテンアメリカ・ファンドの保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額
- Tモバイル** : 下記の(c)~(e)の合計から(f)~(h)を控除して算出
 - (c) SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じた価値 (ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数 ('21年12月末時点: 56,124,954株) を含む)
 - (d) 一定の条件下でSBGがTモバイル株式 (48,751,557株) を無償で取得できる権利 (条件付対価) の公正価値
 - (e) '20年6月にTモバイルによる現金強制転換証券 (Cash Mandatory Exchangeable Trust Securities) を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連して受領した、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値
 - (f) ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額
 - (g) Tモバイル株式を活用したマージン・ローンの借入総額のうち、ノンリコースのアセットバック・ファイナンスとしている金額 (Tモバイル株式を活用した借入 (借入総額\$2.65bn) については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠 (\$0.70bn) を控除した\$1.94bnをノンリコースのアセットバック・ファイナンスによる借入額としています。なお、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該借入の担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられている)
 - (h) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約 (カラー契約) の満期決済金額 (同社株価で算出)
- ドイツテレコム** : SBGの保有株式数に同社株価を乗じ、同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額を控除して算出
- Arm (アーム)** : SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- SB Northstar (上場株投資)** : SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分に、SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数に同社株価を乗じた価値を加算して算出
- その他のSBGによる上場投資及び非上場投資** : 下記の(i)及び(j)の合計
 - (i) 上場株式 : SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出
 - (j) 非上場株式 : SBGが保有する未上場株式等の公正価値 (公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価) に基づいて算出

3. 純負債 (アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債 : SBKK (Zホールディングス株式会社をはじめとする子会社を含む)、SVF1、SVF2、ラテンアメリカ・ファンド、アーム、PayPay株式会社及びFortress Investment Group等の独立採算子会社及びSB Northstarの有利子負債合計から現預金等合計を減算
- その他調整 : 以下の(k)~(t)を調整額の合計
 - (k) '16年9月発行 円建てハイブリッド債 : 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (l) '17年7月発行 ドル建てハイブリッド債 : 連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に加算
 - (m) '17年11月実行 円建てハイブリッドローン : 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (n) '21年2月及び6月発行 円建てハイブリッド債 : 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (o) アリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を控除
 - (p) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約 (フロア契約・カラー契約・フォワード契約) に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (q) SBKK株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を控除
 - (r) Tモバイル株式を活用したマージン・ローンの借入総額のうち、ノンリコースのアセットバック・ファイナンスとしている金額を控除 (上記2.の(g)参照)
 - (s) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約 (カラー契約) に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (t) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除

4. LTV (純負債/保有株式)

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

5. その他

- 株価 : '21年12月31日終値
- 為替 : 1ドル = 115.02円

- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アリババ = Alibaba Group Holding Limited、SBKK = ソフトバンク株式会社、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、ラテンアメリカ・ファンド = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド1及びソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド2、Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アーム = Arm Limited
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社グループの想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

NAV・LTVの定義及び算出方法（'22年3月末時点）

1. NAV (Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債

2. 保有株式 (保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)

- Alibaba (アリババ)** : SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数に同証券の株価を乗じ、下記の(a)及び(b)を控除して算出
 - (a) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約 (フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド) のうち、未決済分の満期決済金額 (同社株価で算出) の合計額
 - (b) アリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額
- SBKK** : SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じ、同社株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を控除して算出
- SVF1** : SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2** : SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
- LatAm Funds** : ラテンアメリカ・ファンドの保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額
- Tモバイル** : 下記の(c)~(e)の合計から(f)~(h)を控除して算出
 - (c) SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じた価値 (ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数 ('22年3月末時点: 56,124,954株) を含む)
 - (d) 一定の条件下でSBGがTモバイル株式 (48,751,557株) を無償で取得できる権利 (条件付対価) の公正価値
 - (e) '20年6月にTモバイルによる現金強制転換証券 (Cash Mandatory Exchangeable Trust Securities) を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連して受領した、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値
 - (f) ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額
 - (g) Tモバイル株式を活用したマージン・ローンの借入総額のうち、ノンリコースのアセットバック・ファイナンスとしている金額 (Tモバイル株式を活用した借入 (借入総額\$2.06bn) については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠 (\$0.57bn) を控除した\$1.49bnをノンリコースのアセットバック・ファイナンスによる借入額としています。なお、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該借入の担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられている)
 - (h) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約 (カラー契約) の満期決済金額 (同社株価で算出)
- ドイツテレコム** : SBGの保有株式数に同社株価を乗じ、同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額を控除して算出
- Arm (アーム)** : SVF1において算出されたアームの全株式の公正価値に基づくSBG持分 (発行済株式の75.01%) の公正価値から、SBGが保有する同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額を控除して算出
- SB Northstar (上場株投資)** : SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分に、SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数に同社株価を乗じた価値を加算して算出
- その他のSBGによる上場投資及び非上場投資** : 下記の(i)及び(j)の合計
 - (i) 上場株式 : SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出
 - (j) 非上場株式 : SBGが保有する未上場株式等の公正価値 (公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価) に基づいて算出

3. 純負債 (アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債 : SBKK (Zホールディングス株式会社をはじめとする子会社を含む) 、SVF1、SVF2、ラテンアメリカ・ファンド、アーム、PayPay株式会社等の独立採算子会社、ならびにSB Northstarの有利子負債合計から現預金等合計を減算
- その他調整 : 以下の(k)~(u)の調整額の合計
 - (k) '16年9月発行 円建てハイブリッド債 : 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (l) '17年7月発行 ドル建てハイブリッド債 : 連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に加算
 - (m) '17年11月実行 円建てハイブリッドローン : 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (n) '21年2月及び6月発行 円建てハイブリッド債 : 連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (o) アリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を控除
 - (p) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約 (フロア契約・カラー契約・フォワード契約) に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (q) SBKK株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を控除
 - (r) Tモバイル株式を活用したマージン・ローンの借入総額のうち、ノンリコースのアセットバック・ファイナンスとしている金額を控除 (上記2.(g)参照)
 - (s) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約 (カラー契約) に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (t) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
 - (u) アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額を控除

4. LTV (純負債/保有株式)

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

5. その他

- 株価 : '22年3月31日終値
- 為替 : 1ドル = 122.39円

- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アリババ = Alibaba Group Holding Limited、SBKK = ソフトバンク株式会社、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、ラテンアメリカ・ファンド = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド1及びソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド2、Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アーム = Arm Limited
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社グループの想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

Vision Fund 1 累計投資成果 (SBG連結目線)

(Vision Fund 1開始から'22年3月末まで)

6.7兆円

(\$54.5bn)



価値増 (40社)

3.5兆円

(\$28.8bn)



▲3.1兆円

(-\$25.7bn)



価値減 (52社)

Vision Fund 1累計投資成果：SVF1開始以降の累計投資損益、売却済の投資(NVIDIA、Flipkart等)を含む、税金等考慮前
実現益：投資先からの受取配当金を含む
投資は、配当金及び関連するヘッジの影響を含むリターンの合計に基づいて、価値増と価値減のいずれかに分類
SBG連結目線：NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む。SBGからSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含めない。
各項目の金額は、単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。
1ドル= 122.39円('22年3月31日TTM)で換算

Vision Fund 1 上場投資先 ('22年3月末時点)

(\$ mm)	会社名	(a) 投資額 *1	(b) 時価 (グロス) *2	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率 *3
	Doordash	680	9,085	+\$8,405	13.4x
	Coupang	2,729	10,889	+\$8,160	4.0x
全持分売却済	NVIDIA	2,878	5,813	+\$2,936	2.0x
	Guardant Health	308	2,679	+\$2,371	8.7x
	Uber	7,666	9,978	+\$2,312	1.3x
	SenseTime	1,429	3,715	+\$2,286	2.6x
全持分売却済	Slack	334	1,018	+\$684	3.0x
	Relay Therapeutics	300	835	+\$535	2.8x
	Policybazaar	199	671	+\$472	3.4x
	Opendoor	450	896	+\$446	2.0x
全持分売却済	Ping An Good Doctor	400	828	+\$428	2.1x
	Vir Biotechnology	199	593	+\$394	3.0x
全持分売却済	10x Genomics	31	338	+\$307	10.9x
	Energy Vault	60	295	+\$235	4.9x
	Compass	1,082	1,040	-\$42	1.0x
	OneConnect	100	9	-\$91	0.1x
	Aurora Innovation	333	220	-\$113	0.7x
全持分売却済	ZhongAn	550	400	-\$150	0.7x
	Auto1	741	540	-\$201	0.7x
	Zymergen	404	77	-\$327	0.2x
	Full Truck Alliance	1,700	1,314	-\$386	0.8x
	Roivant *4	919	491	-\$428	0.5x
	Grab	2,993	2,447	-\$546	0.8x
	Paytm	1,600	1,015	-\$585	0.6x
	View	1,175	122	-\$1,053	0.1x
	WeWork *5	3,468	622	-\$2,846	0.2x
	DiDi	12,073	2,421	-\$9,652	0.2x
(A)	上場投資先 合計 (グロス)	\$44,801 (5.5兆円)	\$58,352 (7.1兆円)	+\$13,550 (+1.7兆円)	1.3x
(B)	未上場投資先*	\$42,661	\$57,862	+\$15,201	
(A)+(B)	Vision Fund 1 合計 (SBG連結目録)	\$87,463	\$116,214	+\$28,752	

1. 投資額：投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料（純額）の合計

2. 時価(グロス)：投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと'22年3月末時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、投資関連の資金調達及びその他のファンド関連の負債等考慮前。

3. 倍率：Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(グロス)を投資額で除して算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため掲載していない。

4. Roivant：SVF1の投資額からはRoivantの上場前('20年3月)に実現した\$116mmが除かれています。

5. WeWork：SVF1の投資額(\$3,468mm)には、WeWork Asia Holding Company B.V.("WeWork Asia")への投資額(\$400mm)が含まれています。WeWork Asia株式は1株当たり\$11.60で'20年4月にWeWork優先株式に交換されました。

SBG連結目録：NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む。SBGからSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含めない。累計投資パフォーマンスを純額で表示。

SVF1に対するSBGからの累計支払額（純額）(Net-Paid-in capital) = \$27.7bn、SBGに帰属する価値合計 (Total Value) = \$40.0bn。詳細は「2022年3月期 Investor Briefing SoftBank Vision & LatAm Funds」を参照。

Vision Fund 1：SVF1

各項目の金額は、単位未満を四捨五入しているため

内訳の計と合計が一致しない場合があります。

1ドル= 122.39円('22年3月31日TTM)で換算

Vision Fund 1 上場投資先 ('22年5月11日時点)

(\$ mm)	会社名	(a) 投資額 *1	(b) 時価 (グロス) *2	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率 *3
	Doordash	680	7,149	+\$6,469	10.5x
	Coupang	2,729	7,195	+\$4,466	2.6x
全持分売却済	NVIDIA	2,878	5,813	+\$2,936	2.0x
	Guardant Health	308	2,660	+\$2,353	8.6x
	Uber	7,666	9,154	+\$1,488	1.2x
	SenseTime	1,429	2,808	+\$1,379	2.0x
	GoTo	841	1,573	+\$731	1.9x
全持分売却済	Slack	334	1,018	+\$684	3.0x
全持分売却済	Ping An Good Doctor	400	828	+\$428	2.1x
	Policybazaar	199	601	+\$402	3.0x
	Opendoor	450	794	+\$344	1.8x
全持分売却済	10x Genomics	31	338	+\$307	10.9x
	Vir Biotechnology	199	445	+\$246	2.2x
	Energy Vault	60	190	+\$130	3.2x
	Relay Therapeutics	300	426	+\$126	1.4x
	OneConnect	100	8	-\$92	0.1x
全持分売却済	ZhongAn	550	400	-\$150	0.7x
	Aurora Innovation	333	132	-\$201	0.4x
	Auto1	741	419	-\$323	0.6x
	Zymergen	404	36	-\$368	0.1x
	Full Truck Alliance	1,700	1,190	-\$510	0.7x
	Compass	1,082	557	-\$525	0.5x
	Paytm	1,600	1,002	-\$598	0.6x
	Roivant *4	919	280	-\$639	0.3x
	View	1,175	34	-\$1,141	0.0x
	Grab	2,993	1,755	-\$1,238	0.6x
	WeWork *5	3,468	465	-\$3,003	0.1x
	DiDi	12,073	1,482	-\$10,591	0.1x
上場投資先 合計 (グロス)		\$45,643 (5.6兆円)	\$48,753 (6.0兆円)	+\$3,111 (+0.4兆円)	1.1x

1. 投資額：投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料 (純額) の合計

2. 時価(グロス)：投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと'22年5月11日時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、投資関連の資金調達及びその他のファンド関連の負債等考慮前。

3. 倍率：Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(グロス)を投資額で除して算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため掲載していない。

4. Roivant：SVF1の投資額からはRoivantの上場前('20年3月)に実現した\$116mmが除かれています。

5. WeWork：SVF1の投資額(\$3,468mm)には、WeWork Asia Holding Company B.V.("WeWork Asia")への投資額(\$400mm)が含まれています。WeWork Asia株式は1株当たり\$11.60で'20年4月にWeWork優先株式に交換されました。

Vision Fund 2 累計投資成果 (SBG連結目線)

(Vision Fund 2開始から'22年3月末まで)



Vision Fund 2累計投資成果：SVF2開始以降の累計投資損益、税金等考慮前
 SVF2のエグジット前の投資の投資額及び公正価値には、
 投資の取得対価の一部として受領した他会社の少数株主持分に係るものが含まれる
 投資は、配当金及び関連するヘッジの影響を含むリターン合計に基づいて、価値増と価値減のいずれかに分類
 各項目の金額は、単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。
 1ドル= 122.39円('22年3月31日TTM)で換算

Vision Fund 2 上場投資先 ('22年3月末時点)

(\$ mm)	会社名	(a) 投資額 *1	(b) 時価 (グロス) *2	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率 *3
	AutoStore	2,800	4,843	+\$2,043	1.7x
	Beike (KE Holdings)	1,350	2,452	+\$1,102	1.8x
	Berkshire Grey	115	189	+\$74	1.6x
	IonQ	61	78	+\$18	1.3x
	Pear Therapeutics	46	61	+\$15	1.3x
	Qualtrics	24	23	-\$1	1.0x
	Exscientia	284	273	-\$11	1.0x
	WeWork	2,545	2,525	-\$19	1.0x
	Alnovation	126	81	-\$44	0.6x
	Full Truck Alliance	250	154	-\$96	0.6x
	Zhangmen	105	2	-\$103	0.0x
	Seer	205	78	-\$127	0.4x
	Dingdong	325	49	-\$275	0.2x
	JD Logistics	601	285	-\$315	0.5x
(A)	上場投資先 合計 (グロス)	\$8,836 (1.1兆円)	\$11,094 (1.4兆円)	+\$2,258 (+0.3兆円)	1.3x
(B)	未上場投資先*	\$38,708	\$36,529	-\$2,179	
(A)+(B)	Vision Fund 2 合計 (SBG連結目線)	\$47,544	\$47,623	+\$79	

1. 投資額：投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料 (純額) の合計

2. 時価(グロス)：投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと'22年3月末時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、投資関連の資金調達及びその他のファンド関連の負債等考慮前。

3. 倍率：Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(グロス)を投資額で除して算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため掲載していない。

SBG連結目線：累計投資パフォーマンスを純額で表示。

SVF2に対するSBGからの累計支払額 (純額) (Net-Paid-in capital) = \$46.6bn、SBGに帰属する価値合計 (Total Value) = \$46.2bn。詳細は「2022年3月期 Investor Briefing SoftBank Vision & LatAm Funds」を参照。

Vision Fund 2：SVF2

各項目の金額は、単位未満を四捨五入しているため

内訳の計と合計が一致しない場合があります。

1ドル= 122.39円('22年3月31日TTM)で換算

Vision Fund 2 上場投資先 ('22年5月11日時点)

(\$ mm)	会社名	(a) 投資額 *1	(b) 時価 (グロス) *2	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率 *3
	Beike (KE Holdings)	1,350	2,484	+\$1,134	1.8x
	Berkshire Grey	115	136	+\$21	1.2x
	Pear Therapeutics	46	47	+\$1	1.0x
	Qualtrics	24	12	-\$12	0.5x
	Alnovation	126	96	-\$29	0.8x
	IonQ	61	27	-\$34	0.4x
	Zhangmen	105	1	-\$104	0.0x
	Full Truck Alliance	250	139	-\$110	0.6x
	Exscientia	284	131	-\$153	0.5x
	Seer	205	36	-\$169	0.2x
	AutoStore	2,800	2,604	-\$196	0.9x
	Dingdong	325	56	-\$269	0.2x
	JD Logistics	601	221	-\$379	0.4x
	WeWork	2,545	1,888	-\$656	0.7x
	上場投資先 合計 (グロス)	\$8,836 (1.1兆円)	\$7,879 (1.0兆円)	-\$957 (-0.1兆円)	0.9x

1. 投資額：投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料 (純額) の合計

2. 時価(グロス)：投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと'22年5月11日時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、投資関連の資金調達及びその他のファンド関連の負債等考慮前。

3. 倍率：Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(グロス)を投資額で除して算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため掲載していない。

Vision Fund 1 (’22年3月末) (ファンド全体)

普通出資IRR

11%

優先出資IRR

7%

ブレンドIRR

10%

<公正価値の評価プロセス>

SBIAは四半期ごとに英国の金融行為規制機構(FCA: Financial Conduct Authority)が発行したオルタナティブ投資ファンドマネージャー指針(AIFMD: Alternative Investment Fund Manager Directive)に準拠してSVF1で実施された投資の公正価値を決定する必要があります。SBIAのポートフォリオ投資評価チームは、ポートフォリオマネジメントのチームとは機能的に独立しており、株式投資と特定の複雑な金融商品の公正価値の算出に際しては、必要に応じて、高度な知識や経験を有する外部の専門家が関与することもあります。これに並行して、SVF1の投資アドバイザーボード(IAB: Investor Advisory Board)が、独立の投資評価者として複数の外部ファームを選任し、半期ごとにSVF1で実施された投資の独立評価を行っています。SBIAのポートフォリオ投資評価チームによる評価結果は、独立の投資評価者のレポートを十分に考慮の上、SBIAの投資評価・財務リスク委員会(VFRC: Valuation and Financial Risk Committee)によるレビューを受け、承認されます。投資評価・財務リスク委員会はSBIAのCEOをはじめとするSBIAの上級管理職で構成されています。投資評価・財務リスク委員会によって承認されると、投資評価の結果はSVF1の独立監査人であるデロイトにより財務諸表の一部として監査を受けます。評価結果はSBIA UK Boardに最終承認されます。

<公正価値の評価方法>

SVF1が適用する会計基準はIFRSです。中でも、IFRS13号(公正価値測定)が公正価値の測定について全般的な枠組みを提供しています。また、SVF1はIPEV(International Private Equity and Venture Capital)評価ガイドラインにも準拠しています。IFRSに従い、公正価値測定にあたっては、SBIAは関連する観察可能なインプット(株式市場価格等)を最大限活用し、観察不能なインプットの利用を最小限にしつつ、十分なデータが入手可能となる適切な評価技法を状況に応じて採用しています。活発に取引が行われている市場で公開している会社については、取引相場価格を調整することなく公正価値測定に使用します。未公開会社はマーケットアプローチとインカムアプローチが広く評価技法として使用されています。マーケットアプローチは、類似公開企業比準法や、類似業種比準法、市場価格法などのことです。インカムアプローチは、DCF法がその手法の一つとして知られており、予想将来キャッシュフローの現在価値を計算して事業価値を算出することです。直近の取引価格は、秩序だった取引の結果であれば、一般的には取引日の公正価値を表しています。直近取引法を適用する場合、新規外部投資参加者、投資家の専門性のレベル、取引の規模など、関連する要素を考慮に入れます。さらに、投資について優先劣後などの内容を考慮しています。すなわち、優先株式は劣後株式より価値があります。

<投資成績の定義>

普通出資IRR(LP Net Equity IRR)とは、管理報酬、成功報酬、優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分に係る内部収益率を指します。’22年3月末時点での普通出資持分に帰属するリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びSVF1の純資産価値を元に算出されています。**優先出資IRR(LP Net Preferred Equity IRR)**とは、諸経費が支払われた後の優先出資持分に係る内部収益率を指します。’22年3月末時点での優先出資持分に帰属するリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額、SVF1の純資産価値及び引当済かつ未払いの優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)を元に算出されています。**ブレンドIRR(LP Net Blended IRR)**とは、管理報酬、成功報酬、優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分及び優先出資持分を組み合わせた正味の内部収益率を指します。’22年3月末時点でのリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びSVF1の純資産価値を元に算出されています。なお、これは、Preferred Equity Coupon(分配済み未払い含む)を反映したものです。

“Equity”IRRは例示を目的としたものであり、SVF1全体の投資成績の一部しか表していません。加えて、優先出資持分に対するコミットメントは反映されておらず(これはSVF1全体の投資成績に大きな影響を与えるものであり、より低い成績となる可能性があります)、いずれのリミテッド・パートナーの投資成績を表すものではありません。個別の投資実績及び資金拠出・分配のタイミングに応じて、リミテッド・パートナー毎に投資成績は異なります。SVF1はこれまでの運営期間が限られており、それゆえ投資成績はここに示されている通りにならない可能性があり、未実現の投資が実現した場合のリターンはここに示された投資成績と大きく異なる可能性があります。

SVF1の投資成績は直近でSVF1が一括でSBGから取得した投資案件の成績を含めています。したがって、ここに示された投資成績は未実現である投資先の評価に基づくものを含めており、将来の成績を表すものではありません。SBGは今後類似する資産の一括でのSVF1への引き渡しを行う義務はありません。

過去の投資成績は将来の業績を示唆するものではありません。

Vision Fund 1 (’22年3月末) (SBG (LP) + 成功報酬)

普通出資IRR

13%

<公正価値の評価プロセス>

SBIAは四半期ごとに英国の金融行為規制機構(FCA: Financial Conduct Authority)が発行したオルタナティブ投資ファンドマネージャー指針(AIFMD: Alternative Investment Fund Manager Directive)に準拠してSVF1で実施された投資の公正価値を決定する必要があります。SBIAのポートフォリオ投資評価チームは、ポートフォリオマネジメントのチームとは機能的に独立しており、株式投資と特定の複雑な金融商品の公正価値の算出に際しては、必要に応じて、高度な知識や経験を有する外部の専門家が関与することもあります。これに並行して、SVF1の投資アドバイザリーボード(IAB: Investor Advisory Board)が、独立の投資評価者として複数の外部ファームを選任し、半期ごとにSVF1で実施された投資の独立評価を行っています。SBIAのポートフォリオ投資評価チームによる評価結果は、独立の投資評価者のレポートを十分に考慮の上、SBIAの投資評価・財務リスク委員会(VFRC: Valuation and Financial Risk Committee)によるレビューを受け、承認されます。投資評価・財務リスク委員会はSBIAのCEOをはじめとするSBIAの上級管理職で構成されています。投資評価・財務リスク委員会によって承認されると、投資評価の結果はSVF1の独立監査人であるデロイトにより財務諸表の一部として監査を受けます。評価結果はSBIA UK Boardに最終承認されます。

<公正価値の評価方法>

SVF1が適用する会計基準はIFRSです。中でも、IFRS13号(公正価値測定)が公正価値の測定について一般的な枠組みを提供しています。また、SVF1はIPEV(International Private Equity and Venture Capital)評価ガイドラインにも準拠しています。IFRSに従い、公正価値測定にあたっては、SBIAは関連する観察可能なインプット(株式市場価格等)を最大限活用し、観察不能なインプットの利用を最小限にしつつ、十分なデータが入手可能となる適切な評価技法を状況に応じて採用しています。活発に取引が行われている市場で公開している会社については、取引相場価格を調整することなく公正価値測定に使用します。未公開会社はマーケットアプローチとインカムアプローチが広く評価技法として使用されています。マーケットアプローチは、類似公開企業比準法や、類似業種比準法、市場価格法などのことです。インカムアプローチは、DCF法がその手法の一つとして知られており、予想将来キャッシュフローの現在価値を計算して事業価値を算出することです。直近の取引価格は、秩序だった取引の結果であれば、一般的には取引日の公正価値を表しています。直近取引法を適用する場合、新規外部投資参加者、投資家の専門性のレベル、取引の規模など、関連する要素を考慮に入れます。さらに、投資について優先劣後などの内容を考慮しています。すなわち、優先株式は劣後株式より価値があります。

<投資成績の定義>

普通出資IRR(LP Net Equity IRR)とは、管理報酬、成功報酬、優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分に係る内部収益率を指します。’22年3月末時点での普通出資持分に帰属するリミテッドパートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びSVF1の純資産価値を元に算出されています。

普通出資IRR(Net Equity IRR (SBG (LP)+成功報酬))は、マネージャーとしての成功報酬（支払済み未払い含む）の影響を調整した、SBGの普通出資持分に係る内部収益率（計算はLP Net Equity IRRと同様）を表しています。

“Equity”IRRは例示を目的としたものであり、SVF1全体の投資成績の一部しか表していません。加えて、優先出資持分に対するコミットメントは反映されておらず(これはSVF1全体の投資成績に大きな影響を与えるものであり、より低い成績となる可能性があります)、いずれのリミテッドパートナーの投資成績を表すものではありません。個別の投資実績及び資金拠出・分配のタイミングに応じて、リミテッドパートナー毎に投資成績は異なります。SVF1はこれまでの運営期間が限られており、それゆえ投資成績はここに示されている通りにならない可能性があり、未実現の投資が実現した場合のリターンはここに示された投資成績と大きく異なる可能性があります。

SVF1の投資成績は直近でSVF1が一括でSBGから取得した投資案件の成績を含めています。したがって、ここに示された投資成績は未実現である投資先の評価に基づくものを含めており、将来の成績を表すものではありません。SBGは今後類似する資産の一括でのSVF1への引き渡しを行う義務はありません。

投資期間終了前に売却した投資案件に係る成功報酬は、全額支払いが行われており、クローバック条項の対象となります。

過去の投資成績は将来の業績を示唆するものではありません。

Vision Fund 2 (’22年3月末) (SBG (LP))

ブレンドIRR

0%

<公正価値の評価プロセス>

SBIAはSBGAの選任投資顧問として四半期ごとにIFRSに準拠してSVF2で実施された投資の公正価値を決定する必要があります。SBIAのポートフォリオ投資評価チームは、ポートフォリオマネジメントのチームとは機能的に独立しており、株式投資と特定の複雑な金融商品の公正価値の算出に際しては、必要に応じて、高度な知識や経験を有する外部の専門家が関与することもあります。SBIAのポートフォリオ投資評価チームによる評価結果は、SBGAの投資評価・財務リスク委員会(VFRC: Valuation and Financial Risk Committee)によるレビューを受け、承認されます。投資評価・財務リスク委員会はSBIAのCEOをはじめとするSBIAの上級管理職で構成されています。投資評価・財務リスク委員会によって承認されると、投資評価の結果はSVF2の独立監査人であるデロイトにより財務諸表の一部として監査を受けます。評価結果はSBGA Boardに最終承認されます。

<公正価値の評価方法>

SVF2が適用する会計基準はIFRSです。中でも、IFRS13号(公正価値測定)が公正価値の測定について全般的な枠組みを提供しています。また、SVF2はIPEV(International Private Equity and Venture Capital)評価ガイドラインにも準拠しています。IFRSに従い、公正価値測定にあたっては、SBIAは関連する観察可能なインプット(株式市場価格等)を最大限活用し、観察不能なインプットの利用を最小限にしつつ、十分なデータが入手可能となる適切な評価技法を状況に応じて採用しています。活発に取引が行われている市場で公開している会社については、取引相場価格を調整することなく公正価値測定に使用します。未公開会社はマーケットアプローチとインカムアプローチが広く評価技法として使用されています。マーケットアプローチは、類似公開企業比準法や、類似業種比準法、市場価格法などのことです。インカムアプローチは、DCF法がその手法の一つとして知られており、予想将来キャッシュフローの現在価値を計算して事業価値を算出することです。直近の取引価格は、秩序だった取引の結果であれば、一般的には取引日の公正価値を表しています。直近取引法を適用する場合、新規外部投資参加者、投資家の専門性のレベル、取引の規模など、関連する要素を考慮に入れます。さらに、投資について優先劣後などの内容を考慮しています。すなわち、優先株式は劣後株式より価値があります。

<投資成績の定義>

ブレンドIRR(LP Net Blended IRR)とは、管理報酬、業績連動型管理報酬、優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分及び優先出資持分を含めた正味の内部収益率を指します。’22年3月末時点でのリミテッド・パートナーからの資金拋出/分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びSVF2の純資産価値を元に算出されています。なお、これは、Preferred Equity Coupon(分配済み・未払い含む)を反映したものです。

ブレンドIRR(Net Blended IRR (SBG (LP)))は、SBGの内部収益率（計算はLP Net Blended IRRと同様）を表しています。’22年3月末に、成功報酬に関する規定が業績連動型管理報酬に関する規定に改定されましたが、業績連動型管理報酬はSBGの投資成績には含まれません。

SVF2はこれまでの運営期間が限られており、それゆえ投資成績はここに示されている通りにならない可能性があり、未実現の投資が実現した場合のリターンはここに示された投資成績と大きく異なる可能性があります。

SVF2の投資成績は直近でSVF2が一括でSBGから取得した投資案件の成績を含めています。したがって、ここに示された投資成績は未実現である投資先の評価に基づくものを含めており、将来の成績を表すものではありません。SBGは今後類似する資産の一括でのSVF2への引き渡しを行う義務はありません。

過去の投資成績は将来の業績を示唆するものではありません。

Vision Fund 1+2 (’22年3月末) (SBG (LP) + 成功報酬)

ブレンドIRR

10%

<公正価値の評価プロセス>

SBIAは四半期ごとに英国の金融行為規制機構(FCA: Financial Conduct Authority)が発行したオルタナティブ投資ファンドマネージャー指針(AIFMD: Alternative Investment Fund Manager Directive)及びIFRSに準拠してSVF1及びSVF2(以下併せて「ファンド」)で実施された投資の公正価値を決定する必要があります。SBIAのポートフォリオ投資評価チームは、ポートフォリオマネジメントのチームとは機能的に独立しており、株式投資と特定の複雑な金融商品の公正価値の算出に際しては、必要に応じて、高度な知識や経験を有する外部の専門家が関与することもあります。SVF1では、これに並行して、SVF1の投資アドバイザーボード(IAB: Investor Advisory Board)が、独立の投資評価者として複数の外部ファームを選任し、半期ごとにSVF1で実施された投資の独立評価を行っています。SBIAのポートフォリオ投資評価チームによる評価結果は、独立の投資評価者のレポートを十分に考慮の上、SBIAの投資評価・財務リスク委員会(VFRC: Valuation and Financial Risk Committee)によるレビューを受け、承認されます。投資評価・財務リスク委員会はSBIAのCEOをはじめとするSBIAの上級管理職で構成されています。投資評価・財務リスク委員会によって承認されると、投資評価の結果はファンドの独立監査人であるデロイトにより財務諸表の一部として監査を受けます。SVF1の評価結果はSBIA UK Boardに最終承認され、SVF2の評価結果はSBGA Boardに最終承認されます。

<公正価値の評価方法>

ファンドが適用する会計基準はIFRSです。中でも、IFRS13号(公正価値測定)が公正価値の測定について全般的な枠組みを提供しています。また、ファンドはIPEV(International Private Equity and Venture Capital)評価ガイドラインにも準拠しています。IFRSに従い、公正価値測定にあたっては、SBIAは関連する観察可能なインプット(株式市場価格等)を最大限活用し、観察不能なインプットの利用を最小限にしつつ、十分なデータが入手可能となる適切な評価技法を状況に応じて採用しています。活発に取引が行われている市場で公開している会社については、取引相場価格を調整することなく公正価値測定に使用します。未公開会社はマーケットアプローチとインカムアプローチが広く評価技法として使用されています。マーケットアプローチは、類似公開企業比準法や、類似業種比準法、市場価格法などのことです。インカムアプローチは、DCF法がその手法の一つとして知られており、予想将来キャッシュフローの現在価値を計算して事業価値を算出することです。直近の取引価格は、秩序だった取引の結果であれば、一般的には取引日の公正価値を表しています。直近取引法を適用する場合、新規外部投資参加者、投資家の専門性のレベル、取引の規模など、関連する要素を考慮に入れます。さらに、投資について優先劣後などの内容を考慮しています。すなわち、優先株式は劣後株式より価値があります。

<投資成績の定義>

Vision Fund 1+2 (SBG (LP)+成功報酬)は、SBGによるファンドへの投資開始以来の合算の投資成績を表したものです。(以下に定義)

ブレンドIRR(LP Net Blended IRR)とは、管理報酬、業績連動型管理報酬、成功報酬、優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分及び優先出資持分を含めたSVF1とSVF2の正味の内部収益率を指します。'22年3月末時点でのリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びSVF1とSVF2の純資産価値を元に算出されています。

ブレンドIRR(Net Blended IRR (SBG (LP)+成功報酬))は、SVF1のマネージャーとしての成功報酬(支払済み・未払い含む)の影響を調整した、SBGのSVF1とSVF2に係る内部収益率(計算はLP Net Blended IRRと同様)を表しています。SVF1については、投資期間終了前に売却した投資案件に係る成功報酬は、全額支払いが行われており、クローバック条項の対象となります。SVF2については、'22年3月末に、成功報酬に関する規定が業績連動型管理報酬に関する規定に改定されましたが、業績連動型管理報酬はSBGの投資成績には含まれません。

ファンドはこれまでの運営期間が限られており、それゆえ投資成績はここに示されている通りにならない可能性があり、未実現の投資が実現した場合のリターンはここに示された投資成績と大きく異なる可能性があります。

ファンドの投資成績は直近でファンドが一括でSBGから取得した投資案件の成績を含めています。したがって、ここに示された投資成績は未実現である投資先の評価に基づくものを含めており、将来の成績を表すものではありません。SBGは今後類似する資産の一括でのSVF1もしくはSVF2への引き渡しを行う義務はありません。

過去の投資成績は将来の業績を示唆するものではありません。

Latin America Funds ('22年3月末)

(SBG (LP) + 成功報酬)

ブレンドIRR
32%

<投資成績の定義>

LatAm Fundsとは、LatAm 1 及びLatAm 2を含むSBLA Latin America Fund LLCの合算の投資成績を表したものです。

ブレンドIRR(LP Net Blended IRR)とは、管理報酬、成功報酬、優先出資持分に係る定率の固定分配額(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分及び優先出資持分を含めた正味の内部収益率を指します。'22年3月末時点でのリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びLatAm Fundsの純資産価値を元に算出されています。なお、これは、Preferred Equity Coupon(分配済み・未払い含む)を反映したものです。

ブレンドIRR(Net Blended IRR (SBG (LP)+成功報酬))は、SBGの普通出資持分に係る内部収益率（計算はLP Net Equity IRRと同様）を表しています。該当がある場合は、マネージャーとしての成功報酬（支払済み・未払い含む）の影響が加味されます。

LatAm Fundsはこれまでの運営期間に限られており、それゆえ投資成績はここに示されている通りにならない可能性があり、未実現の投資が実現した場合のリターンはここに示された投資成績と大きく異なる可能性があります。

過去の投資成績は将来の業績を示唆するものではありません。